

- ・地域・ボランティアによる避難所運営
- ・地域防災会議のありかた
- ・箕面市災害時特別宣言条例
- ・災害時の議会・議員の役割（被災地のニーズ把握、被災者支援活動への参加、国・県への要望等）  
被災地の職員の声  
「普段からもっとマニュアルや計画をつくっておけば」「訓練をきちんと実施すれば良かった」

◆第5講義「超高齢社会と交通＝免許返納と地域交通の課題＝」所正文（立正大学教授）

日本は諸外国と比較し、クルマ優先社会であり、交通弱者の死亡事例も多い。事故や違反は必ず起こるといふ発想の下、英国のロードハンプや信号無視対策などの実例が紹介された。

<27日>

・10:00～ 神奈川県・横浜市社会保障推進協議会と国保問題について意見交換を行った。県内市町村国保の実態調査を毎年行っており、

**行政視察**

・14:00～ 横浜市「国保行政」について

政令市横浜市の人口は375万人、うち国保加入世帯は約55万、加入者91万人で全国有数の自治体国保。

（特徴点について）

①滞納額 H24年度100億円あったが、H28年度は約45億円まで減少。

②資格証明書発行 H28年10月からゼロ。発行しても徴収効果なしと判断。差し押さえなど債権管理強化、執行停止、滞納減免、納付緩和制度活用、納付相談強化（夜間休日は未実施）を実施している。

③短期保険証 2年に1度の切り替えであり、有効期限はすべて1年。発送コスト減、業務改善につながった。郵送発送し、留め置きはなし。

④子育て支援保険料減免

H26年度から19歳未満の子ども対象に世帯主の基準総所得金額から控除する方法。

16歳未満（33万円）、19歳未満（12万円）減免総額12億円

⑤一般会計からの法定外繰り入れ

H29年度110億円（保険料緩和100億円、特定健診・指導4億円など）

⑥収納率（H27）現年度分93%、滞納分24.3%



ご記入後、**FAX: 03-5227-1828** までご返信ください。

**2017年 第19期自治政策講座 in 横浜**

◇ **受 講 確 認 票** ◇

自治体議会政策学会  
〒112-00013 東京都文京区音羽 1-5-8 イマジン第2オフィス  
TEL: 03-5227-1827 FAX: 03-5227-1828

貴方様の「第19期自治政策講座 in 横浜」受講希望内容は次の通りです。  
ご確認いただき、項目毎の□に✓をご記入の上、FAX・郵送にてご返信下さい。

1. 日程 (参加お申込み日に○がしてあります。△はキャンセル待ちとなります。)

第1日目 7月25日(火) ○  
第2日目 7月26日(水) ○

2. 受講料(三井住友銀行 麹町支店 普通 1497025 自治体議会政策学会)

¥30,000 円 [講座 2 日分]

3. お名前、ご連絡先のご確認

ホンギ リョウ

**お名前: 細木 良 様 / 所属名: 高知市議会**

**ご連絡先: 〒780-8571 高知県高知市本町 4-1-24-6F**

**TEL: 088-823-9404 / FAX: 088-823-9558**

細木 良 様

4. 領収書について

☆領収書の御宛名を下線部にお書きください。(当日、受付にてお渡し致します。)

日本共産党高知市議会  
細木 良

御宛名

注: ご指定のない場合は、御宛名に議会名とお名前を記載した領収書となります。  
団体でお申込みの場合、個別に領収書が必要な方はその旨をご記載下さい。  
ご指定がない場合は、団体で1枚となります。

5. 連絡事項、訂正箇所などをご記入ください

例: 日程変更・キャンセル・団体でまとめてお振込の際の口座名義など

6. キャンセルについて

キャンセルが発生した場合、左記日程のキャンセル日にXをしてFAXにてお知らせ下さい。ご連絡がない場合、キャンセル料が発生します。

7. 団体でのお申込みについて

1) 団体申込みの場合、受講確認票は訂正がなければ代表の方1枚のご返信で構いません。訂正がある場合は、代表者と訂正される方の分をお送り下さい。個別に領収書が必要な方はその旨を5. にご記載下さい。

2) 領収書の個別発行のご指定がない場合は、団体で1枚となります。

3) まとめて入金される場合は、振込人名義を5. にご記載ください。

## 自治政策講座受講のご案内 (受講確認票及びお振込先)

細木 良 様



拝啓

入梅の候、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度は、講座へのお申し込みいただきありがとうございます。

「自治体議会政策学会 第19期 自治政策講座 in 横浜」に関する受講のご確認のご案内と、受講料のお振込みのお願いです。

1. 受講料は 7月14日(金) までに右記口座へお振込みください。
2. 裏面の 受講確認票に必要事項を記入の上、領収書の宛名をご記入いただき、お手数ですが、ファクシミリ・郵送でお早めにご返送ください。
3. 当日、受付にて領収書をお渡しします。  
裏面にて領収書のお宛名を必ずご記載ください。
4. キャンセルの場合は必ず開催日の10日前までにご連絡ください。
5. 宿泊希望の方は、直接宿泊先施設にご予約ください。  
ご参考までに会場最寄りの宿泊施設をご紹介します。別紙、会場案内をご覧ください。

第1日目 7月25日は 12時30分より

第2日目 7月26日は 9時30分より

受付をいたします。当日、受付にて「自治体名(議会議名)」と「お名前」をスタッフにお伝え下さい。

会長はじめスタッフ一同皆様とお目にかかれる事を楽しみにしております。

敬具

受講確認票を確認の上、FAXください。

受講料のお振込みは7月14日(金)まで。

領収書の宛名を必ずご記入ください。

キャンセルの場合は必ずご連絡ください。

※ご連絡なくキャンセルされた場合、キャンセル料が発生します。

記

お振込先

振込口座：三井住友銀行 麹町支店

普通 1497025

口座名：自治体議会政策学会

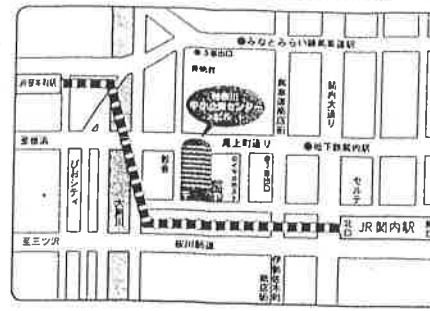
以上

自治体議会政策学会 事務局担当：[REDACTED]

電話：03-5227-1827 Fax：03-5227-1828

第19期 自治政策講座 in 横浜

「暮らしを支える  
自治体の政策」



日 時 2017年7月25日(火)、26日(水)  
場 所 神奈川産業振興センター13階会議室(JP関内駅・みなとみらい線馬車道)  
お問合せ 自治体議会政策学会事務局 TEL 03-5227-1827

7月25日(火) 13:00~16:30

第1講義

食からの地域再生—田舎力の創造へ

金丸 弘美(地域活性化アドバイザー)

「食」を起点に文化・環境・教育、そして地域経済振興と「豊かな田舎」づくりに奔走する講師が地域再生のポイントを伺う。

第2講義

命をつなぐ水—水道法改正と自治体

橋本 淳司(水ジャーナリスト)

広域化などを推進する水道法改正案が国会上程され、少子高齢社会の水道事業の在り方が議論される。命の源を地域社会でどのように守るのか伺う。

7月26日(水) 10:00~16:30

第3講義

セーフティネットの張替えと自治体の責務

神野 直彦(日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授)

規制緩和による競争促進、公営企業の民営化、公共サービスの縮小と進む社会に夢と希望はあるか。セーフティネットはなぜどのように備えるのか伺う。

第4講義

自治体の災害時の業務継続—行政の役割と議会の論点

紅谷 昇平(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)

津波・地震・水害など相次いで日本列島を襲う自然災害から住民を守るため、自治体に何ができるのか。自治体の災害対応体制、業務継続計画のあり方の専門家から、議会の論点を伺う。

第5講義

超高齢社会と交通—免許返納と地域交通の課題

所 正文(立正大学心理学部教授)

高齢ドライバー激増時代に不幸な事故が報道される。一方で、買物困難・陸の孤島と孤立する高齢者へ地域交通・地域社会の在り方を伺う。

金丸弘 美食環境ジャーナリスト/食総合プロデューサー

7月25日(火) 第1講義

1952年佐賀県唐津市生まれ。執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくりを連携させた食のワークショップのプランニング、プロモーション、ツアーといった食のアドバイザー事業、学校を対象とした、公開授業、大学から幼稚園まで各学校での食の講師を務める。ラジオ、テレビ出演も多い。著書に、『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』

(NHK出版)、『実践! 田舎力—小さくても経済が回る5つの方法』(NHK出版)、『幸福な田舎のつくりかた:地域の誇りが人をつなぎ、小さな経済を動かす』学芸出版社など多数。現在、日本ベンクラブ会員環境委員会副委員長、小笠原諸島振興開発審議会委員(国土交通省)、新潟経営大学特命教授、明治大学農学部食料環境政策学科「食文化論」兼任講師 など歴任。

橋本淳司 (水ジャーナリスト/アクアスフィア水教育研究所プロデューサー)

7月25日(火) 第2講義

1967年、群馬県館林市生まれ。学習院大学卒業。出版社勤務後、独立し現職。「水ジャーナリスト」として水問題の起きている現場、解決方法の調査とメディアでの発信。「アクアスフィア水教育研究所プロデューサー」として、水リテラシーの普及活動(国や自治体への政策提言やサポート、子どもや市民を対象とする講演活動、啓発活動のプロデュース)を行う。近著は『100年後の水を守る 水ジャーナリストの20年』(文研出版)、『67億人の水』(日本経済新聞出版社)、『日本の地下水が危ない』(幻冬舎新書)、『水は誰のものか 水循環をとりまく自治体の課題』(イマジン出版)、『いちばんわかる企業の水リスク』(誠文堂新光社)など。

動、啓発活動のプロデュース)を行う。近著は『100年後の水を守る 水ジャーナリストの20年』(文研出版)、『67億人の水』(日本経済新聞出版社)、『日本の地下水が危ない』(幻冬舎新書)、『水は誰のものか 水循環をとりまく自治体の課題』(イマジン出版)、『いちばんわかる企業の水リスク』(誠文堂新光社)など。

神野直彦 (日本社会事業大学学長/東京大学名誉教授)

7月26日(水) 第3講義

1946年埼玉県生まれ。1969年東京大学経済学部卒業、日産自動車を経て1981年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。大阪市立大学助教授、東京大学教授、東京大学大学院経済学研究科長・経済学部長、関西学院大学教授、地方財政審議会会長などを経て、現在日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授。専攻は財政学。著書に『地域再生の経済学』(中央公論新社、2002年)、『財政学』(有斐閣、2002年)、『分かち合い』の経済学』(岩波書店、2010年)、『日本の地方財政』(有斐閣、2014年)(共著)、『「人間国家」への改革 参加型型の福祉社会をつくる』(NHK出版、2015年)

京大学名誉教授。専攻は財政学。著書に『地域再生の経済学』(中央公論新社、2002年)、『財政学』(有斐閣、2002年)、『分かち合い』の経済学』(岩波書店、2010年)、『日本の地方財政』(有斐閣、2014年)(共著)、『「人間国家」への改革 参加型型の福祉社会をつくる』(NHK出版、2015年)

紅谷昇平 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授/人と防災未来センター リサーチフェロー)

7月26日(水) 第4講義

1971年愛媛県松山市生まれ。京都大学工学部建築学科卒業、同工学研究科修士課程修了、神戸大学大学院経済学研究科修士課程、同自然科学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。(株)三和総合研究所(現・三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))、人と防災未来センター、神戸大学社会科学系教育研究府を経て、2016年4月より兵庫県立大学にて勤務。東日本大震災をはじめとする国内の大規模災害で、被災自治体の支

援や災害対応の検証調査、自治体職員向け研修の企画等を行う。最近の著書・論文に、「自治体における震災対応体制の実態と課題」(研究情報誌ECPR)、「自治体BCP基礎講座」「自治体防災の最前線」(いずれも日経グローバルにて連載)がある。大規模災害からの被災住民の生活再建を支援するための応援職員の派遣の在り方に関する研究会委員(総務省)、地方公共団体の受援体制に関する検討会委員(内閣府)などを歴任。

所 正文 (立正大学心理学部教授)

7月26日(水) 第5講義

1957年茨城県水戸市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、同・大学院修士課程修了、博士(文学、早大)。国士館大学政経学部助教授、教授等を経て、2011年から現職。1988年東京都知事賞、2004年日本応用心理学会賞を受賞。2003・04年に英国シェフィールド大学Visiting Professor。21世紀の日本社会を「交通の窓」を通して展望する。欧州や中国、そして江戸期の日本社会との比較研究をもとに「交通は社会の縮図なり」

を検証し、文化・文明論的な構造転換と持続可能な社会構築を提案する。著書に、『車社会も超高齢化』(学文社)、『高齢ドライバー・激増時代』(学文社)、『働く者の生涯発達』(白桃書房)など多数。高齢ドライバー問題に関するコメンテーターとして、NHK総合「クローズアップ現代」、「視点・論点」、BSフジ「プライムニュース」、BS日テレ「深層NEWS」、BS11「報道ライブ21」などに出演している。

- お申し込み要領
1. お申し込み方法下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
  2. 受講料2日間参加/30,000円 1日のみ参加/20,000円
  3. お申し込み後に送付します受講確認票に従って受講料をお振込ください。

申し込み用紙 FAX: 03-5227-1828 第19期 自治政策講座 in 横浜

▼氏名(フリガナ)	▼電話	▼FAX
下 本文 雄	[Redacted]	
	▼E-mail	
▼住所	▼所属(議会・団体等)	
〒780-0952 高知市塚 1-108-65		
申込日に☑を入れてください	全日程参加	1日のみ参加
	<input checked="" type="checkbox"/> 7月25日(火)~26日(水)	<input type="checkbox"/> 7月25日(火)のみ参加
		<input type="checkbox"/> 7月26日(水)のみ参加

# 修了証書

高知市議会

細木 良 殿

あなたは、自治体議会政策学会の主催による  
下記の講座を修了したことを証します。

2017年 第19期 自治政策講座 in 横浜  
**暮らしを支える自治体の政策**

講座	開催日	講座名 / 講師
第1講義	7/25 (火)	食からの地域再生 —田舎力の創造へ 金丸 弘美 食環境アドバイザー
第2講義	7/25 (火)	命をつなぐ水 —水道法改正と自治体 橋本 淳司 アクアスフィア水教育研究所代表
第3講義	7/26 (水)	セーフティネットの張替えと自治体の責務 神野 直彦 日本社会事業大学学長
第4講義	7/26 (水)	自治体の災害時の業務継続 —行政の役割と議会の論点 紅谷 昇平 兵庫県立大学大学院准教授
第5講義	7/26 (水)	超高齢社会と交通—免許返納と地域交通の課題 所 正文 立正大学心理学部教授

平成 29 年 7 月 26 日

自治体議会政策学会



様式第7号(第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	8月 2日 (水)	
	支出先	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会	
	目的・内容 ・結果等	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会参加費 参加日：2017年8月19日～20日	
支出金額など	項目	使途内容の明細，積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費	別紙のとおり	2,080
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	事務諸費		2,080
			合計
領収証書及び支払証明書添付枚数 <u>1</u> 枚			
備考			

※ 枠内に収まらない場合は，別紙に整理し添付してください。

## ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号	
29-08-02	64217	A93190002	
取扱店	コウケンチュウナイ		
払込口座	01690-5	101456	
払込金額	*2,000	料金	*80
<small>この振替受付票は、払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)</small>		振替受付票	
入金額	*5,100		
おつり	*3,020		
はじめての投資信託はゆうちょで！			

印紙税申告納  
 付につき麹町  
 税務署承認済



第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会・参加申込書

参加者氏名	迫 哲郎		
所属団体	日本共産党 高知市議団		
参加者連絡先	住所	〒 780-0930	高知 県
		高知市玉水町6-1-1 パス通町二番館 606	
	電話/FAX	[REDACTED]	
	メール	[REDACTED]	
宿泊予約済みの方はホテル名をお知らせください。			

	種類	資料代・料金・経費	該当に○印	小計
一般	参加費(19日)	1000円	<input type="checkbox"/>	2,000 円
	参加費(20日)	1000円	<input type="checkbox"/>	
学生	参加費(19日)	500円		円
	参加費(20日)	500円		
	全国交流会(19日)	5000円		円
	弁当(20日)	600円		円
見学会	Aコース(21日)	2600円		円
	Bコース(21日)	2400円		

合計金額	2,000 円
------	---------

参加会議	該当に○印
全体会	
分科会①	<input type="checkbox"/>
分科会②	
分科会③	

※ 原則として、FAXかメールでお申し込み下さい。メールの場合はこの申込書を添付してください。  
参加申込の送付と一緒に、同封の郵便振替伝票用紙にて参加費等の振込をお願いします。

<p>【参加申込先】 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会 〒780-0861高知県高知市升形9-11(平和資料館・草の家) 電話:088-875-1275/FAX:088-821-0586 メール:GRH@ma1.seikyou.ne.jp</p>
--

【緊急連絡先】 [REDACTED]

【郵便振替口座】 01690-5-101456 【口座名義】 戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

入金日	8 月 2 日
-----	---------

入金日を必ずご記入ください。

※分科会レポートの執筆は別添付申し込みが必要です。(別添付)

2017/8/19(土)▶21(日)

# 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

## 今こそ戦争遺跡を平和のために



旧歩兵第44連隊弾薬庫



旧歩兵第44連隊講堂



整備された前浜5号掩体



旧高知海軍航空隊耐弾式通信壕

2017年の戦争遺跡全国シンポジウムは、高知市で開催されます。高知は自由民権運動の発祥の地であり「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われております。

高知市はアジア・太平洋戦争末期、7月4日の大空襲により市街地の大半が灰燼かいじんに帰し438名の命が失われました。高知平野は、当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られました。それらの多くは実際に使われることはありませんでしたが、72年の歳月を経ても戦争の実相、虚しさを今日に伝えております。

高知での全国シンポジウムは、2000年の第4回南国市大会以来17年振りとなります。その間、旧高知海軍航空隊の残存掩体7基のすべてが南国市史跡となるなど大きな成果も見られました。確認された戦争遺跡も飛躍的に増加しましたが、新たな課題も生じています。特に旧歩兵第44連隊の弾薬庫と講堂の保存は急を要しています。全国の取組みに学びながら前進させたいと思います。

全国シンポジウムは今年で21回を迎え、指定・登録の戦争遺跡は267件となり、その存在は広く知られるようになりました。しかし平和のために戦争遺跡を学び、保存、継承していくことの今日的な意義は益々大きくなっています。今回の全国シンポジウムが、戦争遺跡の調査研究や保存の進展、交流の機会となるよう努めたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

主催 / 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

後援 / 高知県 高知市 高知市教育委員会 南国市

NHK 高知放送局 RKC 高知放送 KUTV テレビ高知 KSS さんさんテレビ 高知ケーブルテレビ

高知新聞社 朝日新聞高知総局 毎日新聞高知支局 読売新聞高知支局 産経新聞社高知支局

## 日 程

2017年8月19日(土) (於 高知県民文化ホールグリーン)

I 全体会

受 付 12:00~

全体集会 13:00~

記念講演 公文 豪 氏

「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」

基調報告 十菱駿武 (戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

地域報告

II 全国交流集会

高知会館 18:00~

2017年8月20日(日) (於 高知県民文化ホール多目的室)

I 分科会 9:00~15:10

分科会①「保存運動の現状と課題」

分科会②「調査の方法と整備技術」

分科会③「平和博物館と次世代への継承」

II 閉会集会 15:30~16:10

2017年8月21日(月)

戦争遺跡見学会 午前中

### ● 参加費

一 般 1日 1,000円

学 生 1日 500円

### ● 申込・問い合わせ

現地実行委員会事務局  
平和資料館・草の家

〒780-0861

高知市升形9-11

TEL 088-875-1275

FAX 088-821-0586

E アドレス

GRH@ma1.seikyoku.ne.jp

## 公文 豪 氏

1948年生 (68歳)。

野市町議会議員・高知県議会議員を経て、現在は高知近代史研究会会長、土佐史談会副会長、高知大学非常勤講師。

著書 『民権ばあさん・

楠瀬喜多小論』、『土佐の自由民権運動入門』、『史跡ガイド・土佐の自由民権』、共著『土佐自由民権運動日録』、校訂・宇田朋猪著『板垣退助君伝記』など。おもに自由民権運動を研究し、高知大学では植木枝盛の思想を講義している。



活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

	期 間 又 は 月 日	8月3日（木）～8月4日（金）	
	支 出 先	原水爆禁止世界大会実行委員会等	
活 動 内 容 等	目的・内容 ・結果等	<p>原水爆禁止2017年世界大会国際会議（会場：広島市文化交流会館）に参加 8月3日（開会総会&amp;全体会14時～19時） 「核兵器禁止条約を力に、核兵器のない平和で公正な世界を」をテーマに開催された2017年原水爆禁止世界大会の国際会議の全体会議で、「広島・長崎の原爆被害者、核兵器の非人道性、ヒバクシャのたたかい」、「核兵器禁止条約から廃絶へ—平和運動、市民社会の役割」に関する報告がされた。 8月4日（全体会9時30分～12時30分、分科会14時～18時） 前日に続き国際会議全体会で、「核兵器のない世界へ行動と共同—核抑止力論の克服、紛争の平和的解決、放射能被害の根絶、安全なくらしと環境」に関する報告がされた。分科会は「核兵器禁止条約から廃絶へ—平和運動、市民社会の役割」にて世界各地の活動報告がされ、活動の交流を行うとともに、今後の運動発展のための課題や取組みについて意見交換が行われた。</p> <p>※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。</p>	
支 出 金 額 等	項 目	使途内容の明細、積算の基礎等	金 額（円）
	調査研究費		
	研 修 費	参加費等16,000、旅費・交通費等37,370(往復JR・電車18,870、宿泊11,000、日当3,000+4,500)	53,370
	要請・陳情 活動費		
	会 議 費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人 件 費		
	事務諸費		
		合 計	53,370円
	領収証書及び支払証明書添付枚数 <u>2</u> 枚		
備 考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

領収証

No. 0014717

日本共産党 高知市議団様

金額			百	千	円
				1.8	510

但し 8/4 宿泊代として

2017年 8月 1日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳

税抜  
金額

消費税額等  
(%)

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 太平洋トラベル  
代表取締役 岡本 直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376



領 収 書

日本共産党 高知市議団

浜口 佳寿子 様

2017年 8月 3日

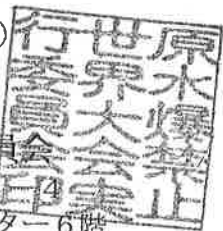
金 16,000 円

原水爆禁止 2017年世界大会 国際会議参加費 (世界大会-広島・世界大会-長崎参加費を含む)として領収いたしました。

原水爆禁止世界大会実行委員会

東京都文京区湯島2-4-4

平和と労働センター6階



領 収 書

RECEIPT

T 022184501 666  
701 000000000  
08/03 (19:25)

日本共産党高知市議団 浜口 佳寿子 様

金額 ￥11,000- (内消費税 814)

上記の金額を正に領収いたしました。(消費税を含みます。)

但し 御宿泊代として

発行日 2017年8月3日

印紙

広島 東急REIホテル

〒730-0029 広島県広島市中区三川町10-1  
Tel.082-244-0109 Fax.082-245-4467  
www.hiroshima.rei.tokyuhotels.co.jp

規則様式第6号(第6条関係)

支払証明書

支払金額	金360円也
内容	広島駅～市役所前 往復料金(参考様式金額欄①)
支払先	広島電鉄
支払年月日	2017年8月3日(木)往路、4日(金)復路
理由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(下記のとおり)  参考様式1「視察にかかる旅費交通費」の① 合計360円 ⇒乗車時に自動券売機で購入のため [(①180)×2]  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会派名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄 様

2017年 8 月 28 日

依頼者氏名 浜口 佳寿子 

上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年 8 月 28 日

会派名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄 

参考様式1 視察に係る旅費交通費（規則様式第8号別紙）

別紙

視察に係る旅費交通費

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
8/3	高知駅 ～広島駅	JR	往復特割券	18,510※
〃	広島駅 ～市役所前	広島電鉄		① 180
〃	広島東急REI ホテル	宿泊		11,000
8/4	広島市役所前 ～広島駅	広島電鉄		① 180
〃	広島駅 ～高知駅	JR	※に含む	0
	以下、空欄			
合 計				29,870円

- ※ 支出を伴わない移動（徒歩、相手方による送迎等）は記載不要。
- ※ 旅費は、高知市役所を出発地として計算。

規則様式第8号(第6条関係)

行政視察報告書

報告者氏名(視察代表者) 浜口 佳寿子



1 視察者氏名

浜口 佳寿子			

2 視察期間 2017年8月3日 ~ 2017年8月4日

3 視察先, 視察事項, 選定理由, 視察結果等

視察日 視察先	視察事項及び 選定理由	視察結果 (参考となった事項, 考察)
8月3日(木)  広島市	原水爆禁止2017年世界 大会国際会議に出席  国際会議において、世界 各国の参加者から核兵器 禁止運動に関する報告が され、活動交流が行われ る。	(開会総会&全体会14時~19時) 「核兵器禁止条約を力に、核兵器の ない平和で公正な世界を」をテーマ に開催された2017年原水爆禁止世界 大会の国際会議の全体会議の開会総 会および全体会が開催され、全体会 では「広島・長崎の原爆被害者、核 兵器の非人道性、ヒバクシャのたた かい」、「核兵器禁止条約から廃絶 へ—平和運動、市民社会の役割」に 関する国内外各地からの報告が行わ れた。
8月4日(金)  広島市	原水爆禁止2017年世界 大会国際会議に出席  国際会議において、世界 各国の参加者から核兵器 禁止運動に関する報告が され、活動交流が行われ る。	(全体会9時30分~12時30分、分科 会14時~18時) 全体会は前日に続き、「核兵器のな い世界へ行動と共同—核抑止力論の 克服、紛争の平和的解決、放射能被 害の根絶、安全なくらしと環境」に 関する報告がされた。分科会は「核 兵器禁止条約から廃絶へ—平和運 動、市民社会の役割」に参加し、世 界各地の運動の報告がされ、活動の 交流を行うとともに、今後の運動発 展のための課題や取組みについて意 見交換を行った。

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください

※ 主要な関係資料の写しを添付してください。

視察に係る旅費交通費の内訳は、別紙のとおり。



# 請求書

2017/7/31

共産党高知市議団 様  
浜口佳寿子 様

毎度お引き立てを賜り誠にありがとうございます  
下記の通りご請求申し上げます

ご請求金額 ¥18,510

高知県知事登録第3-73号  
(有) えびす興産

太平洋トラベル

代表取締役 岡本直人

780-0074 高知市南金田1-1-19

TEL 088-882-3353

FAX 088-882-3376



ご旅行期間	2017/8/3	~	2017/8/4	担当者	[REDACTED]
-------	----------	---	----------	-----	------------

項目	明細		金額	摘要
	単価	員数		
8/3-4JR券代	18,510	1	18,510	高知-広島往復 P&R有り
合計金額			18,510	消費税込み
お預り金				
差引ご請求額			18,510	消費税込み

銀行振り込みを頂けるお客様は、下記ご都合の良い口座までご送金下さい  
尚、お振り込みの際には、振込手数料はお客様ご負担にて、お振り込み願います  
お振り込みのお客様で、別途領収書がお入り用のお客様は、弊社までご連絡下さい

四国銀行・木屋橋支店・普通・口座番号0669906 太平洋トラベル  
ゆうちょ銀行 01650-0-55468 太平洋トラベル

# 明細書



**広島 東急REIホテル**  
 HIROSHIMA TOKYU REI HOTEL  
 〒730-0029 広島県広島市中区三川町10番1号  
 Tel:082-244-0109 Fax:082-245-4467

お部屋番号  
ROOM No.

お名前  
NAME

608 日本共産党高知市議団 浜口 佳寿子 様

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2017/08/03	2017/08/04	1	2017/08/03	

日付 DATE	お部屋 ROOM	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS
08/03	608 608	ご朝食付 11,000x 1 AEON	11,000	11,000

	料金 CHARGES	お預り金 CREDITS	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND
総合計 TOTAL	11,000	11,000	0	0

(内消費税 814)

T 022184501 666  
 701 000000000  
 08/03 (19:25)

署名  
SIGNATURE

お部屋料金に、消費税を加算させていただきます。

The consumption tax is included on room charges.

# 旅 費 明 細 書

月 日	出発地	経 路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃			航空賃	車 賃		日 当	宿 泊 料		食卓料	計
					営業 換算	運賃	急 行料		計	定額		実費額	日 数		
8	3 高知 (7:00)		市役所前 (10:50)	広島市	340.6	6,200	4,850			180	1	1	3,000		29,030
	4 市役所前 (18:34)		高知 (22:50)		340.6	6,200	4,850			180	1		4,500		15,730
			( )												0
			( )												0
			( )												0
			( )												0
			( )												0
支 度 料															0
旅行雑費					681.2	12,400	9,700			360	2	2	7,500		(支給額) 円 44,760
合 計								0	0					114,800	0

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。  
 ※ 8/4は帰着時刻が21時を超えるため、半日当を加算する。

国際会議参加代表 各位

## 国際会議のご案内

2017年7月1日  
原水爆禁止世界大会実行委員会

世界大会参加のみなさん。

8月3日から5日まで、広島市文化交流会館で原水爆禁止2017年世界大会・国際会議が開かれます。

ことしの国際会議は、核兵器禁止条約ができたもとで、廃絶にむけた運動と取り組みについて議論します。核兵器の非人道性を告発し、核兵器の全面廃絶を求め、冒頭から広島・長崎の体験と核兵器の非人道性を正面からとりあげます。

草の根で活動するみなさんの積極的な参加をよびかけます。

### 記

#### 1、日時

8月3日(木) 開会総会/全体会議 14:00~19:00  
8月4日(金) 全体会議 9:30~12:30 分科会 14:00~18:00  
8月5日(土) 閉会総会 10:00~11:30

#### 【ご案内】

国際会議に先立ち、8月3日午前11時より会場(3階・銀河)で、日本側の代表団への説明会を開催します。必ずご出席ください。

2、会場 広島市文化交流会館(旧厚生年金会館)3階・銀河  
広島市中区加古町3-3 電話082-243-8881(代)

3、大会テーマ **核兵器禁止条約を力に、核兵器のない平和で公正な世界を**

#### 4、プログラム(案)

8月3日(木)

開会総会(14:00-15:10)

開会宣言、海外代表の紹介、議長団任命、主催者あいさつ、メッセージ紹介、政府代表あいさつ

第一セッション(15:20-17:20) 広島・長崎の原爆被害、核兵器の非人道性、ヒバクシャのたたかい

第二セッション(17:30-19:00) 核兵器禁止条約から廃絶へー平和運動、市民社会の役割

8月4日(金)

第三セッション(9:30-12:30) 核兵器のない世界へ行動と共同核抑止力論の克服、紛争の平和的解決。放射能被害の根絶。安全なくらしと環境

分科会(14:00-18:00)

第一分科会： 第一セッションテーマ

第二分科会： 第二セッションテーマ

第三分科会： 第三セッションテーマ

(分科会3会場=広島市文化交流会館・銀河A/B、鶴学園広島校201号室)

8月5日(土)

閉会総会(10:00-11:30)

分科会報告、科学者集会報告、国際会議宣言の提案と採択、閉会あいさつ

5、参加費 16,000円

国際会議の全日程参加者には、世界大会-広島、同-長崎の参加費が含まれています。但し、日本原水協募金及び「動く分科会」、企画行事などの参加費は別途必要です。

#### 6、代表登録

広島市文化交流会館 3階「銀河」前ロビー「国際会議代表登録受付」

受付時間：3日(木) 10:00~19:00 / 4日(金) 9:00~18:00 / 5日(土) 9:00~11:30

各都道府県原水協 御中



2017年7月1日  
原水爆禁止世界大会実行委員会

## 2017年世界大会・国際会議参加代表の宿泊のご案内

2017年世界大会・国際会議(8/3~5)に参加する都道府県代表の宿泊については、下記の要領で準備しています。早急に代表を決めていただき、宿泊申込みをされますようご案内いたします。

なお8月3日午前11時より、国際会議参加日本代表団説明会が、広島市文化交流会館(旧厚生年金会館)3F銀河(国際会議会場)で予定されていますのでご参加ください。

### 記

#### 1、宿泊の予約について

宿泊の申込みは事前に日本原水協宿泊係までおねがいします。

下記「申し込み書」に記入の上、7月19日(水)までに申し込んでください。

(TEL=03-5842-6035 FAX=03-5842-6033)

#### 2、宿泊先ホテル

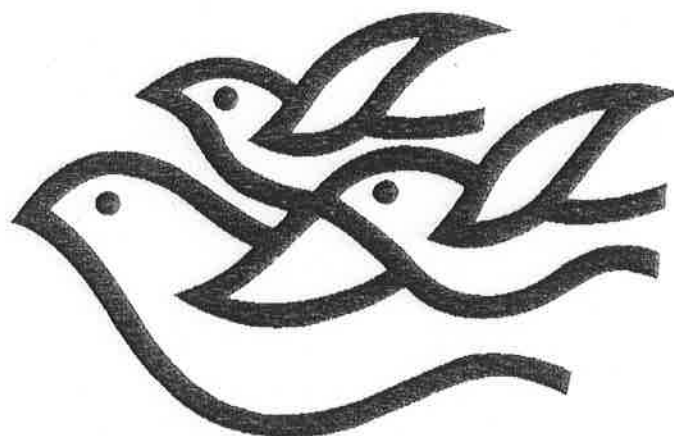
広島東急REIホテル (広島市中区三川町10-1、電話=082-244-0109)

宿泊料金 11,000円 (シングル、一泊朝付、支払いは各自がホテルにおこないます)

(注) 広島東急REIホテルへの直接申し込みはできません。また予約人員が満室となった場合には、他のホテルに配宿させていただきますのでご了承ください。

原水爆禁止世界大会2017年世界大会

# 国際会議のしおり



原水爆禁止世界大会実行委員会  
2017年8月3日(木)~5日(土)

原水爆禁止 2017 年世界大会・国際会議の参加者のみなさん

国際会議は、世界と日本の反核平和運動、NGO の代表に、政府代表も加わって核兵器廃絶の道筋を討論する重要な会議です。みなさんが、海外代表とともに積極的に討論に加わり、今年の大会テーマである「核兵器禁止条約を力に 核兵器のない平和で公正な世界の実現を」への展望を開かれることを期待します。

== 核兵器禁止条約を力に 核兵器のない平和で公正な世界の実現を ==

## 目 次

原水爆禁止 2017 年世界大会	日程	.....	3
原水爆禁止 2017 年世界大会	国際会議		
大会テーマ、プログラム、運営・もちかた		.....	4
起草委員	日本側	.....	7
原水爆禁止 2017 年世界大会	事務局・会場	連絡先一覧	..... 8
会場地図・アクセス		.....	9

## 原水爆禁止 2017 年世界大会 日程

### ■国際会議（広島） …… 8月3日（木）～5日（土）

3日（木）	14:00～19:00	開会総会／全体会議	広島市文化交流会館3階・銀河
4日（金）	09:30～12:30	全体会議	同上
	14:00～17:30	分科会（3会場）	銀河A／B、鶴学園広島校舎201
5日（土）	10:00～11:30	閉会総会	広島市文化交流会館3階・銀河

### ■世界大会 - 広島 …… 8月5日（土）～6日（日）

5日（土）	09:00～15:10	関連行事 第43回原水爆禁止広島青少年少女のつどい	広島港集合
	12:30～	関連行事 今こそ被爆者の声を聞こう！ 被爆者訪問	
	13:00～15:30	関連行事 碑めぐり・遺跡めぐり	平和公園内国際会議場北側緑地集合
	18:30～20:30	世界大会－広島 市民と海外代表の交流集会	広島市文化交流会館3階・銀河
6日（日）	08:00～08:45	広島市平和記念式典(広島市主催)	広島平和公園
	13:00～15:30	世界大会 - 広島〈ヒロシマデー集会〉	広島県立総合体育館・グリーンアリーナ
	19:30～20:30	ヒロシマデーとうろう流し	基町河川公園（相生橋東詰北側）

### ■世界大会 - 長崎 …… 8月7日（月）～9日（水）

7日（月）	15:30～18:00	世界大会－長崎 開会総会	長崎市民会館体育館／文化ホール
	18:30～20:00	関連行事 Ring! Link! Zero 2017 in 長崎	長崎市民会館体育館
8日（火）	09:30～15:00	分科会／動く分科会	各会場
	13:00～16:00	フォーラム 核兵器禁止条約実現－政府とNGOの対話	チトセピアホール
	13:00～16:00	特別集会 核と基地のない日本、沖縄との連帯を	NBCメディア・ツー
	18:00～20:00	関連行事 2017 核兵器なくそう女性のつどい in 長崎	長崎市民会館体育館／文化ホール
9日（水）	10:30～13:00	世界大会－長崎 閉会総会〈ナガサキデー集会〉	長崎市民会館体育館／文化ホール
	10:35～11:40	長崎市平和祈念式典＝長崎市主催	長崎市平和公園
	14:00～15:00	ナガサキデー 宣伝・署名行動	浜の町アーケード
	18:00～20:00	レセプション	長崎ワシントンホテル



# 原水爆禁止 2017 年世界大会 国際会議

## 大会テーマ、プログラム、運営・持ち方

参加 230名

### 1、大会テーマ

核兵器禁止条約を力に 核兵器のない平和で公正な世界の実現を

### 2、プログラム

(8月1日現在)

■8月3日(木) 会場：広島市文化交流会館 3階・銀河

開会総会 (14:00-14:35)

開会宣言、海外代表の紹介、議長団任命

主催者あいさつ 野口邦和 (運営委員会代表)

被爆者のあいさつ 藤森俊希 (日本被団協事務局次長)

メッセージ紹介 (各国元首、広島・長崎市長ほか)

第一セッション (14:35-17:00)

広島・長崎の原爆被害、核兵器の非人道性、ヒバクシャのたたかい

- 1、藤原精吾 (ノーモアヒバクシャ訴訟弁護団団長)
- 2、パク・ジョンスン (韓国原爆被害者協会 釜山支部運営委員)
- 3、アバッカ・アンジャイン・マディソン (マーシャル諸島元上院議員 ロングラップ環礁)  
モレス・アブラハム (マーシャル諸島エニウエトク環礁自治体)
- 4、スー・コールマン＝ヘイゼルダイン (オーストラリア先住民核実験被害者)
- 5、齋藤 紀 (原水爆禁止日本協議会代表理事、福島・わたり生協病院)
- 6、グエン・テ・ルック (ベトナム枯葉剤被害者協会 副会長／事務局長)

導入発言終了後、休憩

質疑応答

第二セッション (17:00-19:00)

核兵器禁止条約から廃絶へー平和運動、市民社会の役割

- 1、ジャッキー・カバソ (廃絶 2000/アメリカ・西部諸州法律基金)
- 2、ハンナ・トゥエッデル (イギリス核軍縮キャンペーン [CND] 副議長)
- 3、ロラン・ニベ (フランス平和運動 全国書記)
- 4、イ・ジュンキュ (韓国 キョレハナ平和研究センター 兼任研究委員)
- 5、安井正和 (日本原水協事務局長)

質疑応答

■8月4日(金) 会場：広島市文化交流会館3階・銀河

第三セッション (9:30-12:30)

核兵器のない世界へ行動と共同－核抑止力論の克服、紛争の平和的解決

放射能被害の根絶、安全なくらしと環境

- 1、ジョゼフ・ガーンソン (アメリカ、平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン)
- 2、リサ・クラーク (国際平和ビューロー [IPB] 共同会長)
- 3、ドン・フィ・クオン (ベトナム平和委員会 事務局長)
- 4、渡久地修 (日本共産党沖縄県議団長)

分科会 (14:00-17:30)

第一分科会：広島・長崎の原爆被害、核兵器の非人道性、ヒバクシャのたたかい

会場：広島市文化交流会館3階・銀河A

第二分科会：核兵器禁止条約から廃絶へ－平和運動、市民社会の役割

会場：広島市文化交流会館3階・銀河B

第三分科会：核兵器のない世界へ行動と共同－核抑止力論の克服、紛争の平和的解決  
放射能被害の根絶、安全なくらしと環境

会場：鶴学園 (広島工業大学) 広島校舎 201 教室

起草委員会 (4日 20:00-) ホテルサンルート広島・2階

■8月5日(土) 会場：広島市文化交流会館3階・銀河

閉会総会 (10:00-11:30)

分科会報告 第一分科会／第二分科会／第三分科会

科学者集会報告 岩田裕 (高知大学名誉教授、日本科学者会議高知支部事務局長)

国際会議宣言の提案と採択

閉会あいさつ

### 3、運営・もちかた

(1) 国際会議は、開会総会、全体会議、分科会、閉会総会の4部で構成されます。全体会議は、第一セッションおよび第二セッションの導入報告および討論を第一日に、第三セッションの導入報告と討論を第二日目午前におこない討論する予定です。

パネル(第一発言者)は、10分以内とします。フロア発言は、用意された原稿に基づく発言は5分以内、質問・コメントは2分以内とします。

(2) 全体会議の議長は、日本代表4名、海外代表4名で構成します。分科会は、日本・海外各2名の分科会議長により運営します。分科会の議長団は、事前に記録・報告者を決め、まとめを作成し、閉会総会に報告します。

(3) パネルの発言者は、全員、運営委員会に対して事前に発言原稿を提出します。また、その他の発言者も発言原稿の事前提出を奨励します。翻訳と会場での配布、記録は、原則として提出された原稿を正規の発言として扱います。発言原稿の提出は、同時通訳と記録を助けるとともに、参加者の理解を助け、また、時間の制約から全体会で発言できない、あるいは要点のみしか発言できない場合に備えて、それぞれの意見発表を保証する補助的措置です。

(4) フロアからの発言を希望する際は、挙手または、発言準備用紙を議長へ提出することとします。柔軟な議事運営と活発な討論をおこなうため、発言順序については議長団に一任することとします。

(5) 国際会議は、参加者の共同の意思を国際会議宣言として採択します。起草委員会は、海外から各国の各組織より 1 名、日本側から運営委員会により任命された若干名の委員により構成されます。起草委員長は、大会主催者として日本側が任命します。宣言案は、閉会総会において報告・提案され、採択されます。

## 日本側起草委員 (五十音順)

- 大矢 正人 (長崎県実行委員会、長崎総合科学大学名誉教授)  
川田 忠明 (日本原水協担当常任理事)  
神部 泰 (広島県実行委員会、全教広島書記長)  
高草木 博 (日本原水協代表理事)  
高杉 しゅん (新日本婦人の会事務局長)  
千坂 純 (日本平和委員会事務局長)  
土田 弥生 (日本原水協事務局次長)  
富田 宏治 (関西学院大学教授)  
長尾 ゆり (全国労働組合総連合副議長)  
野口 邦和 (非核の政府を求める会常任世話人)

## 原水爆禁止 2017 年世界大会 事務局・会場 連絡先一覧

原水爆禁止世界大会実行委員会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター 6階  
電話 03-5842-6035 FAX 03-5842-6033

### 広島

8/2~6 世界大会実行委員会=広島現地本部  
ホテル・サンルート広島 2階 広島市中区大手町3-3-1  
ホテル代表電話 082-249-3600  
直通・臨時電話 082-542-1371 国内  
同 082-542-1372 国際  
同 FAX 082-542-1373

◇国際会議 会場・国際会議代表登録受付  
8/3~5 広島市文化交流会館3階 ロビー 広島市中区加古町3-3  
会館代表電話 082-243-8881  
代表登録受付臨時電話 080-3207-1958

◇世界大会 - 広島 会場・代表登録受付  
8/5~6 広島県立総合体育館 広島市中区基町4-1  
体育館代表電話 082-228-1111  
代表登録受付臨時電話 080-3207-1958

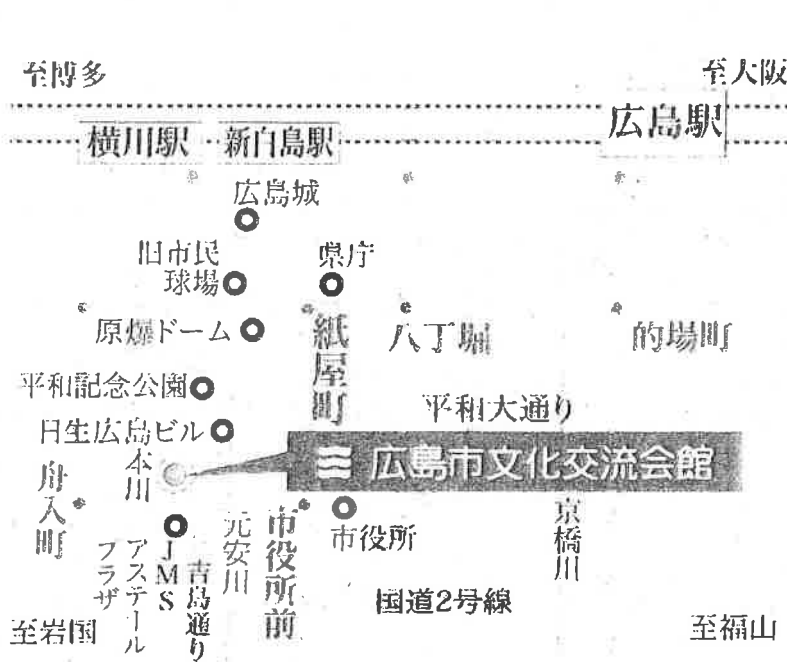
### 長崎

8/7~9 世界大会実行委員会=長崎現地本部  
長崎ワシントンホテル 長崎市新地9-1  
ホテル代表電話 095-828-1211  
直通・臨時電話 095-822-0452 国内  
同 095-822-0453 国際  
同 FAX 095-822-0454

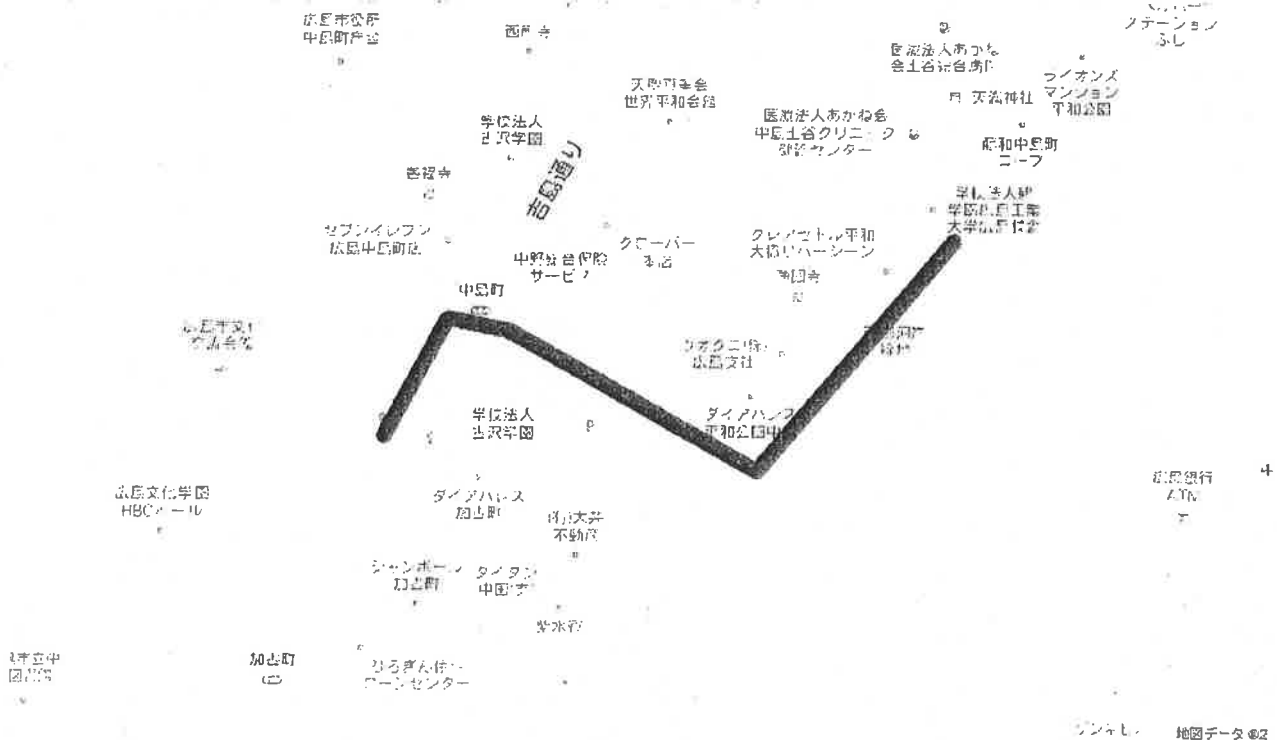
◇世界大会 - 長崎 会場・代表登録受付  
8/7~9 長崎市民会館体育館 長崎市魚の町5-1  
体育館代表電話 095-825-1400  
代表登録受付臨時電話 080-3207-1958

## 会場地図・アクセス

### ★広島市文化交流会館



### ★鶴学園（広島工業大学）広島校舎



〒730-0811 広島市中区中島町 5-7

電話 082-249-1251

# 原水爆禁止 2017 年世界大会 へ行きましょう!



核兵器のない平和で公正な世界を

メイン：長崎大会 8月7日(月)～8月9日(水)

・8月7～9日 長崎大会 (長崎市民会館体育館/文化ホール)

- <日程> 7日(月)15:30～18:00 開会総会 18:30～20:00 Ring! Link! Zero  
 8日(火) 9:30～15:00 分科会、フォーラム、動く分科会  
 18:00～20:00 核兵器なくそう女性のつどい  
 9日(水)10:30～13:00 閉会集會

### <参加要項>

・日程 3泊4日 (1泊船中)

6日 18:00 高知城ホール集會  
18:15 出発→長崎へ

9日 閉会総會終了後→高知へ  
23:35 到着予定

### ・費用

一般 66,000円 青年 52,000円  
大学生 43,000円 中・高校生 39,000円

(分担金・交通費・2泊宿泊費<朝食付き>・保険・資料)  
※市内交通費・食費・動く分科会は別途

8月5～6日 広島大会 (基本的には個人参加)  
 <日程>5日(土)18:30～20:30 海外代表との交流会  
 (広島市文化交流会館)  
 6日(日)13:00～15:30 ヒロシマデー集會  
 (広島県立総合体育館・グリーンアリーナ)  
 19:30～20:30 ヒロシマデーとうろう流し  
 (基町河川公園)

8月3～5日 国際会議 (広島市文化交流会館)  
 <日程>3日(木)14:00～19:00 開会総會・全体會議  
 4日(金) 9:30～12:30 全体會議  
 14:00～18:00 分科會  
 5日(土)10:00～11:30 閉會総會

※事前学習會を 7/29(土)10:00～12:00

高知城ホール県教祖會議室にて行います。

締め切り 7月26日(水)

高知県原水協 TEL/FAX 088-823-8334

### 2017年原水爆禁止世界大会申込み書

	国際會議 ( )	広島大会 ( )	長崎大会 ( )	全行程 ( )
氏名			電話番号	
住所				
年齢	歳	所属		

国際会議参加代表 各位

## 国際会議のご案内

2017年7月1日  
原水爆禁止世界大会実行委員会

世界大会参加のみなさん。

8月3日から5日まで、広島市文化交流会館で原水爆禁止2017年世界大会・国際会議が開かれます。

ことしの国際会議は、核兵器禁止条約ができたもとで、廃絶にむけた運動と取り組みについて議論します。核兵器の非人道性を告発し、核兵器の全面廃絶を求め、冒頭から広島・長崎の体験と核兵器の非人道性を正面からとりあげます。

草の根で活動するみなさんの積極的な参加をよびかけます。

### 記

#### 1、日時

8月3日(木) 開会総会/全体会議 14:00~19:00  
8月4日(金) 全体会議 9:30~12:30 分科会 14:00~18:00  
8月5日(土) 閉会総会 10:00~11:30

#### 【ご案内】

国際会議に先立ち、8月3日午前11時より会場(3階・銀河)で、日本側の代表団への説明会を開催します。必ずご出席ください。

2、会場 広島市文化交流会館(旧厚生年金会館)3階・銀河  
広島市中区加古町3-3 電話082-243-8881(代)

3、大会テーマ **核兵器禁止条約を力に、核兵器のない平和で公正な世界を**

#### 4、プログラム(案)

8月3日(木)

開会総会(14:00-15:10)

開会宣言、海外代表の紹介、議長団任命、主催者あいさつ、メッセージ紹介、政府代表あいさつ

第一セッション(15:20-17:20) 広島・長崎の原爆被害、核兵器の非人道性、ヒバクシャのたたかい

第二セッション(17:30-19:00) 核兵器禁止条約から廃絶へー平和運動、市民社会の役割

8月4日(金)

第三セッション(9:30-12:30) 核兵器のない世界へ行動と共同一核抑止力論の克服、紛争の平和的解決、放射能被害の根絶、安全なくらしと環境

分科会(14:00-18:00)

第一分科会： 第一セッションテーマ

第二分科会： 第二セッションテーマ

第三分科会： 第三セッションテーマ

(分科会3会場→広島市文化交流会館・銀河A/B、鶴学園広島校201号室)

8月5日(土)

閉会総会(10:00-11:30)

分科会報告、科学者集会報告、国際会議宣言の提案と採択、閉会あいさつ

#### 5、参加費 16,000円

国際会議の全日程参加者には、世界大会・広島、同一長崎の参加費が含まれています。但し、日本原水協募金及び「動く分科会」、企画行事などの参加費は別途必要です。

#### 6、代表登録

広島市文化交流会館 3階「銀河」前ロビー「国際会議代表登録受付」

受付時間：3日(木) 10:00~19:00 / 4日(金) 9:00~18:00 / 5日(土) 9:00~11:30



様式第7号(第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	8月 15日 (火)	
	支出先	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会	
	目的・内容・結果等	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会参加費 参加日：2017年8月19日～20日	
支出金額など	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費	別紙のとおり	2,080
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	事務諸費		2,080
			合計
領収証書及び支払証明書添付枚数 <u>1</u> 枚			
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

# ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
29-08-15	64217	A93180020
取扱店	コウチケンチョウナイ	
払込口座	01690-5	101456
払込金額	*2,000	料金 *80

01690-5	振替受付票
101456	払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。
単身連勤・保存専用	料金には、消費税等が含まれています。
¥2,000	(ゆうちょ銀行)
日本共産党高松市議団	
下本文雄	

入金額	*2,080
おつり	*0

はじめての投資信託はゆうちょで！

印紙税申告納  
付につき廻明  
税務署承認済

## 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会・参加申込書

参加者氏名	下本文雄		
所属団体	高知市議会議員		
参加者連絡先	住所	〒780-8571	県
	電話/FAX	高知市本町4-1-24 高知役所本町支庁	
	メール	088-823-9404	
	宿泊予約済みの方はホテル名をお知らせください。		

	種類	資料代・料金・経費	該当に○印	小計
一般	参加費(19日)	1000円	<input type="radio"/>	2,000 円
	参加費(20日)	1000円	<input type="radio"/>	
学生	参加費(19日)	500円		円
	参加費(20日)	500円		
/	全国交流会(19日)	5000円		円
	弁当(20日)	600円		円
見学会	Aコース(21日)	2600円		円
	Bコース(21日)	2400円		

合計金額	2,000 円
------	---------

参加会議	該当に○印
全体会	
分科会①	<input type="radio"/>
分科会②	
分科会③	

※ 原則として、FAXかメールでお申し込み下さい。メールの場合はこの申込書を添付してください。  
参加申込の送付と一緒に、同封の郵便振替伝票用紙にて参加費等の振込をお願いします。

**【参加申込先】 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会**  
 〒780-0861高知県高知市升形9-11(平和資料館・草の家)  
 電話: 088-875-1275 / FAX: 088-821-0586  
 メール: GRH@ma1.seikyou.ne.jp

【緊急連絡先】 XXXXXXXXXX

【郵便振替口座】 01690-5-101456 【口座名義】 戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

入金日	8 月 15 日
-----	----------

入金日を必ずご記入ください。

※分科会レポート発表は別途申し込みが必要です。(別紙参照)

8/15 2011年8月15日

2017/8/19(土)▶21(月)

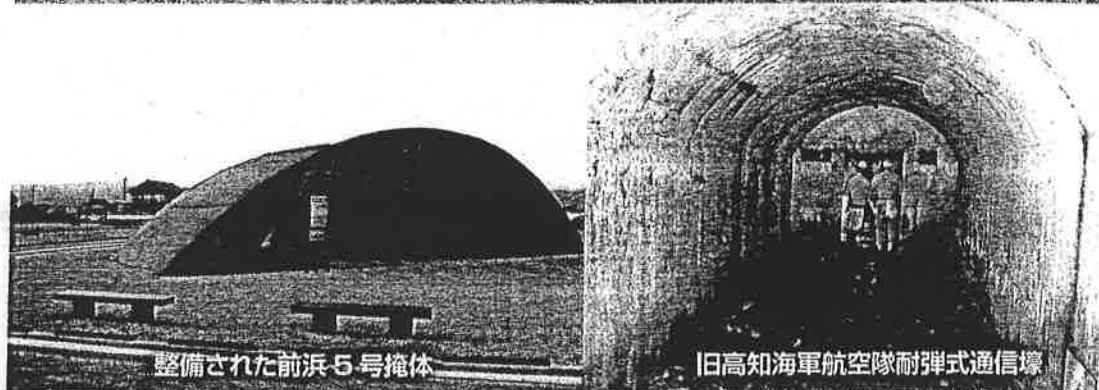
# 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

## 今こそ戦争遺跡を平和のために



旧歩兵第44連隊弾薬庫

旧歩兵第44連隊講堂



整備された前浜5号掩体

旧高知海軍航空隊耐弾式通信壕

2017年の戦争遺跡全国シンポジウムは、高知市で開催されます。高知は自由民権運動の発祥の地であり「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われております。

高知市はアジア・太平洋戦争末期、7月4日の大空襲により市街地の大半が灰燼かいじんに帰し438名の命が失われました。高知平野は、当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られました。それらの多くは実際に使われることはありませんでしたが、72年の歳月を経ても戦争の実相、虚しさを今日に伝えております。

高知での全国シンポジウムは、2000年の第4回南国市大会以来17年振りとなります。その間、旧高知海軍航空隊の残存掩体7基のすべてが南国市史跡となるなど大きな成果も見られました。確認された戦争遺跡も飛躍的に増加しましたが、新たな課題も生じています。特に旧歩兵第44連隊の弾薬庫と講堂の保存は急を要しています。全国の取組みに学びながら前進させたいと思います。

全国シンポジウムは今年で21回を迎え、指定・登録の戦争遺跡は267件となり、その存在は広く知られるようになりました。しかし平和のために戦争遺跡を学び、保存、継承していくことの今日的な意義は益々大きくなっています。今回の全国シンポジウムが、戦争遺跡の調査研究や保存の進展、交流の機会となるよう努めたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

主催 / 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

後援 / 高知県 高知市 高知市教育委員会 南国市

NHK 高知放送局 RKC 高知放送 KUTV テレビ高知 KSS さんさんテレビ 高知ケーブルテレビ

# 日 程

2017年8月19日(土) (於 高知県民文化ホールグリーン)

I 全体会

受付 12:00~

全体集会 13:00~

記念講演 公文 豪 氏

「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」

基調報告 十菱駿武 (戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

地域報告

II 全国交流集会

高知会館 18:00~

2017年8月20日(日) (於 高知県民文化ホール多目的室)

I 分科会 9:00~15:10

分科会①「保存運動の現状と課題」

分科会②「調査の方法と整備技術」

分科会③「平和博物館と次世代への継承」

II 閉会集会 15:30~16:10

2017年8月21日(月)

戦争遺跡見学会 午前中

● 参加費

一般 1日 1,000円

学生 1日 500円

● 申込・問い合わせ

現地実行委員会事務局  
平和資料館・草の家

〒780-0861

高知市升形9-11

TEL 088-875-1275

FAX 088-821-0586

Eアドレス

GRH@mail.seikyou.ne.jp

くもん とう  
公文 豪 氏

1948年生 (68歳)。

野市町議会議員・高知県議  
会議員を経て、現在は高知  
近代史研究会会長、土佐史  
談会副会長、高知大学非常  
勤講師。

著書 『民権ばあさん・

楠瀬喜多小論』、『土佐の自由民権運動入門』、『史跡ガ  
イド・土佐の自由民権』、共著『土佐自由民権運動日録』、  
校訂・宇田朋猪著『板垣退助君伝記』など。おもに自  
由民権運動を研究し、高知大学では植木枝盛の思想を  
講義している。



様式第7号（第6条関係）

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	2017年8月19日（土）～20日（日）	
	支出先	第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会	
	目的・内容・結果等	戦争遺跡保存の現状や課題等について全国の保存活動に携わっている団体等との交流	
支出金額等	項目	使途内容の明細，積算の基礎等	金額（円）
	調査研究費		
	研修費	参加費	2,000
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
		合計	2,000
	領収証書及び支払証明書添付枚数 2 枚		
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金 2, 0 0 0 円也
内 容	第 2 1 回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会
支 払 先	第 2 1 回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会
支 払 年 月 日	2017 年 8 月 17 日 (木)
理 由	領収証書に下記の不備がありますので、補正します。 領収証に押印がないため ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄 様

2017 年 8 月 23 日

依頼者氏名 下元 博司



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017 年 8 月 23 日

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄



領 収 証

下元 博司

様

No. \_\_\_\_\_

★

¥2000-

但

数字遺跡保存全国シンポ参加費

2017年 8 月 17 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等( %)

収 入  
印 紙

コクヨ ウケ-1097

第21回戦跡保存全国シンポ  
高知大会実行委員会



# 2017年 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム 高知大会

2017. 5. 8

更新 実行委員会

の決定により変更していきます

## 1. 大会趣旨

2017年の第21回戦争遺跡保存全国シンポジウムは高知市で開催されます。

高知県は、幕末維新时期に西南雄藩として名をは馳せるとともに自由民権運動の発祥の地としても知られており、「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われています。

高知市はアジア太平洋戦争末期、1945年7月4の大空襲により市街地の大半が灰燼に帰し438名の命が失われました。高知平野は当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから、数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られ、それらが戦争遺跡として残存しているところも少なくありません。また、当地には反戦・抵抗についても刮目すべき歴史が刻まれています。満州事変の翌年1932年2月、歩兵第44連隊が上海に向かって出兵しようとする前夜、榎村浩等によって書かれた出兵反対のビラが兵営内に撒かれたのです。

高知での戦争遺跡保存の取り組みは、1977年の「掩体壕を文化財に推進する会」にはじまります。翌年に戦争遺跡保存ネットワーク高知が結成され、2000年には第4回戦争遺跡保存全国シンポジウムが南国市で開催されました。市民の粘り強い働きかけと行政の努力により2006年には旧高知海軍航空隊の残存掩体7基すべてが南国市史跡となり2013年にはその内の1基の調査と修復が終わり掩体公園として整備されました。その後、「地下通信所」の保存も実現されました。

しかしこの間、浦戸海軍航空隊跡など無惨にも破壊された戦争遺跡もあります。現在は旧歩兵44連隊弾薬庫・講堂の保存が緊急を要する大きな課題となっています。今回の高知大会を機に全国の取り組みに学び保存を進めてまいりたいと思います。

周知のようにこの本は今、安保関連法制のもと自国の防衛とは無関係に海外で戦争をする可能性のある危険な道を進んでいます。今こそ歴史の教訓を総動員して戦後72年間続いて来た平和を守り抜かなければ」ならないと思います。

来年は明治維新後150年です。維新以後、日本は西洋文化を取り入れ近代化を図り短期間のうちに発展を遂げました。しかしその歴史を振り返る時、手放しで肯定することはできないと思います。その前半は植民地支配と侵略戦争の時代であり、アジア太平洋戦争はその帰結でした。近代日本の歴史の「生き証人」である戦争遺跡の調査・研究や保存の意義が今日ほど強く求められている時はありません。

第21回高知大会が、戦争遺跡の保存の現状や課題を明らかにし、相互交流を深めさらに発展させることができるよう多くのおみなさまのご参加を願っています。

## 2. 開催日と会場

2017年8月19日(土)	全体会	県民文化ホールグリーンホール
8月20日(日)	分科会・閉会行事	県民文化ホール多目的室
〒780-0870	高知市本町4丁目3-30	TEL088-824-5321

## 3. 会場への交通案内

○高知龍馬空港から 空港バスで「はりまや橋」下車(約30分)、路面電車に乗り換え「県庁・市役所前」で

下車(約5分) 南へ徒歩3分

○JR高知駅から

路面電車に乗車し「はりやま橋」下車(約5分)、「はりやま橋」

から「鏡川橋」行きに

乗り換え「県庁・市役所前」下車(約5分)、南へ徒歩で3分  
 ※乗換の際に乗換券をもらってください

#### 4. 日程」と内容

(1)8月19日(土)

- ①全体集会 県民文化ホールグリーンホール  
 12:00～ 受付  
 13:00～ 全体集会 開会  
 ・主催者挨拶(実行委員長)  
 ・記念講演 公文 豪 先生 「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」  
 (休憩)  
 ・基調報告 十菱駿武(戦争遺跡保全国ネットワーク共同代表)  
 ・地域報告2本(15:00～15:40)  
 ・閉会挨拶  
 15:50～ 会員総会  
 16:30～ 分科会打ち合わせ(運営委員)  
 17:00 会場閉鎖  
 (交流会会場へ移動)

②全国交流会(高知会館)

- 17:30～ 受付  
 18:00～ 交流会  
 ※会費5000円

(2)8月20日(日) 分科会、閉会集会 多目的室

- 8:30～ 受付  
 9:00～15:00 分科会  
 分科会①:「保存運動の現状と課題」(1Fの第11多目的室)  
 分科会②:「調査の方法と整備技術」(4Fの第6多目的室)  
 分科会③:「平和博物館と次世代への継承」(4Fの第7第8多目的室併

合)

- 15:10～16:00 閉会集会(4Fの第6多目的室)  
 分科会報告  
 特別決議 大会アピール  
 閉会挨拶

(3)8月21日(月) フィールドワーク遺跡見学会(午前中)

Aコース:前浜掩体と耐弾式通信所

9:00県民文化ホール前出発——高知龍馬空港着11:30——JR高知駅到着

12:10

※懐中電灯をご持参ください

Bコース:旧歩兵第44連隊弾薬庫・講堂、陸軍墓地 他

9:00県民文化ホール前出発——12:00県民文化ホール前着

(4)図書交換

8月20日 9:00～15:00に 第3多目的室(3F)

5. 参加費など

参加費 一般2000円(1日参加は1000円) 大学(院)生1000円(1日参加は500円)  
 交流会参加費 5000円  
 昼食弁当代 600円(8月20日)  
 遺跡見学会 Aコース バス代2600円 Bコース バス代2400円

6. 宿泊について

宿泊の斡旋はありません。会員に送付した高知市マップを参考に各自でご手配ください。

7. 現地実行委員会組織など

実行委員長	平和資料館・草の家館長	岡村正弘
現地事務局長		出原恵三
事務局次長		岡村啓佐
事務局会計		太田紘志
戦争遺跡保存全国ネットワーク事務局長		幅 国洋

事務局 〒780-0861 高知市桁形9-11 平和資料館・草の家  
 電話 088-875-1275  
 FAX 088-821-0586  
 メールアドレス GRH@mal.seikyou.ne.jp

7. 会員でない一般の方の申込のお問い合わせ先 (予約が必要な場合があります)

①現地実行委員会 上記住所

②戦争遺跡保存全国ネットワーク事務局

〒380-0928 長野市若里3-5-5

きぼうの家 NPO松代大本営平和祈念館気付

戦争遺跡保存全国ネットワーク事務局

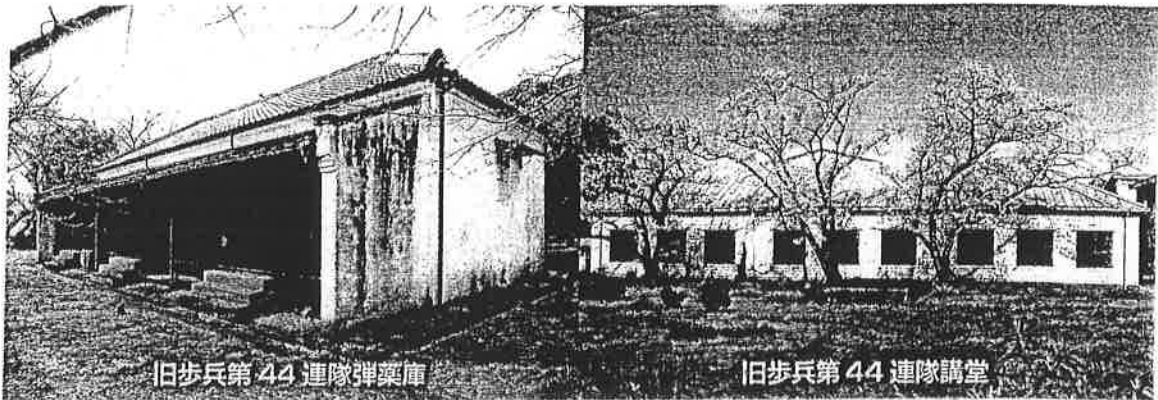
電話 026-228-8415

FAX 026-262-1831

2017/8/19(土)▶21(月)

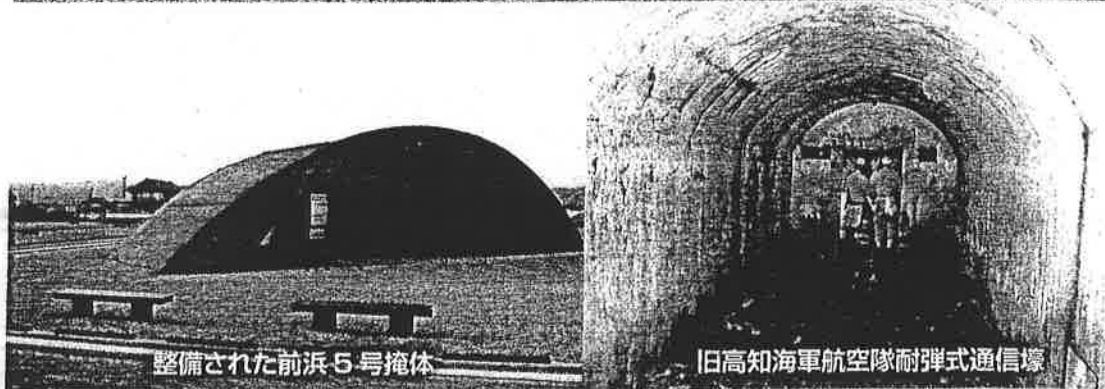
# 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会

## 今こそ戦争遺跡を平和のために



旧歩兵第44連隊弾薬庫

旧歩兵第44連隊講堂



整備された前浜5号掩体

旧高知海軍航空隊耐弾式通信壕

2017年の戦争遺跡全国シンポジウムは、高知市で開催されます。高知は自由民権運動の発祥の地であり「自由は土佐の山間より」は県詞にも詠われております。

高知市はアジア・太平洋戦争末期、7月4日の大空襲により市街地の大半が灰燼かいじんに帰し438名の命が失われました。高知平野は、当時大本営によって米軍上陸の有力な候補地とされていたことから数多くの「本土決戦」陣地や特攻基地が作られました。それらの多くは実際に使われることはありませんでしたが、72年の歳月を経ても戦争の実相、虚しさを今日に伝えております。

高知での全国シンポジウムは、2000年の第4回南国市大会以来17年振りとなります。その間、旧高知海軍航空隊の残存掩体7基のすべてが南国市史跡となるなど大きな成果も見られました。確認された戦争遺跡も飛躍的に増加しましたが、新たな課題も生じています。特に旧歩兵第44連隊の弾薬庫と講堂の保存は急を要しています。全国の取組みに学びながら前進させたいと思います。

全国シンポジウムは今年で21回を迎え、指定・登録の戦争遺跡は267件となり、その存在は広く知られるようになりました。しかし平和のために戦争遺跡を学び、保存、継承していくことの今日的な意義は益々大きくなっています。今回の全国シンポジウムが、戦争遺跡の調査研究や保存の進展、交流の機会となるよう努めたいと思います。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

主催 / 第21回戦争遺跡保存全国シンポジウム高知大会実行委員会・戦争遺跡保存全国ネットワーク

後援 / 高知県 高知市 高知市教育委員会 南国市

NHK 高知放送局 RKC 高知放送 KUTV テレビ高知 KSS さんさんテレビ 高知ケーブルテレビ

# 日 程

2017年8月19日(土) (於 高知県民文化ホールグリーン)

I 全体会

受付 12:00~

全体集会 13:00~

記念講演 公文 豪 氏

「植木枝盛憲法草案と日本国憲法」

基調報告 十菱駿武 (戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)

地域報告

II 全国交流集会

高知会館 18:00~

2017年8月20日(日) (於 高知県民文化ホール多目的室)

I 分科会 9:00~15:10

分科会①「保存運動の現状と課題」

分科会②「調査の方法と整備技術」

分科会③「平和博物館と次世代への継承」

II 閉会集会 15:30~16:10

2017年8月21日(月)

戦争遺跡見学会 午前中

● 参加費

一般 1日 1,000円

学生 1日 500円

● 申込・問い合わせ

現地実行委員会事務局  
平和資料館・草の家

〒780-0861

高知市升形9-11

TEL 088-875-1275

FAX 088-821-0586

Eアドレス

GRH@ma1.seikyou.ne.jp

くもん ころ  
公文 豪 氏

1948年生 (68歳)。

野市町議会議員・高知県議  
会議員を経て、現在は高知  
近代史研究会会長、土佐史  
談会副会長、高知大学非常  
勤講師。

著書 『民権ばあさん・

楠瀬喜多小論』、『土佐の自由民権運動入門』、『史跡ガ  
イド・土佐の自由民権』、共著『土佐自由民権運動日録』、  
校訂・宇田朋猪著『板垣退助君伝記』など。おもに自  
由民権運動を研究し、高知大学では植木枝盛の思想を  
講義している。



様式第7号(第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	2017年8月19・20日	
	支出先	第63回日本母親大会	
	目的・内容・結果等	目的 子どもの貧困問題について学ぶ 内容 「貧困の捉え方」「貧困のパターン、実態」「こども食堂」「就学援助制度」「貧困の可視化」「政治への対抗と運動の構築」 研修参加費5,000円その他1,900円（しおり、手数料、バス） 宿泊旅費 ①（片道+宿泊）50,600円 ②帰り片道 39,530円 龍馬空港バス往復720×2=1,440 日当1泊2日3,000×2=6,000	
支出金額等	項目	使途内容の明細，積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費		104,470
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報公聴費		
	事務諸費		
			合計
	領収証書及び支払証明書添付枚数 <u> 4 </u> 枚		
備考			

※ 枠内に収まらない場合は，別紙に整理し添付してください。

55 秦 愛 様

高知県母親運動連絡会  
事務局発行 (担当 XXXXXXXXXX)  
電話 FAX 088-873-9066

### 参加費用 請求書

63回日本母親大会へのお申し込みありがとうございました。来年高知で開催される日本母親大会に向けて大いに学び交流してきましょう。

下記の通り費用の明細と請求書をお送りしますのでご確認の上、入金をお願いします。

\*現金の場合は、平日10時～18時の間にお持ち下さい。

締め切り 8月10日

振り込み先 四国労働金庫 高知支店

普通 高知県母親運動連絡会

口座番号 3276670

### 費用明細書

○	①基本料金	7250円	(参加費5000円、しおり500円、弁当750円、手数料1000円)	
×	②交流会費	5000円		
○	③シャトルバスチケット	全体会 盛岡駅往復	400円	
	④交通費	往復 (航空券+JR+モノレール+保険料)		円
		片道 (同)		円
	⑤宿泊費	2泊		円
		1泊		円
	⑥被災地訪問 費用	参加費	2000円	
		宿泊費 (福島のみ現地支払い)		円
		交通費 往きのみ		円

総合計 ¥ 51,750 円  
 + 6,500  
58,250 円

規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金 1, 4 4 0 円 也
内 容	高知空港リムジンバス往復
支 払 先	高知龍馬空港リムジンバス
支 払 年 月 日	2 0 1 7 年 8 月 1 9 ・ 2 0 日
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他（下記のとおり）  領収書が無いため  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄 様

2 0 1 7 年 8 月 2 1 日

依頼者氏名 はた 愛



上記のとおり支払ったことを証明します。

2 0 1 7 年 8 月 2 1 日

会 派 名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄





規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	58,250 円也
内 容	第 63 回日本母親大会費用
支 払 先	高知県母親運動連絡会
支払年月日	2017 年 8 月 21 日
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input checked="" type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input type="checkbox"/> その他（下記のとおり）  日付がないため  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄 様

2017 年 8 月 2 1 日

依頼者氏名 はた 愛



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017 年 8 月 2 1 日

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄



振込金受取書(兼手数料受取書)

振込受付書(兼手数料受取書)

振込手数料

¥ 0

ご依頼日 2017年8月20日

お振込先 四国 高知

お受取人 フリガナ シヤ)コウチケンキンロウシヤリ  
ヨコウカイ  
おなまえ 社団法人 高知県勤労者旅行会 様

ご依頼日 フリガナ ハク 8.20  
おなまえ ハク 8.20  
おとこ 高知市中央2-94-18 ヲルキン102号

入金種目 現金 金額 214,486.10  
お引出口座名義 様

おでんわ 090-1172159

お ※お振込金受入区分が「現金・当座小切手」のときは、本書を「振込金受取書(兼手数料受取書)」として取扱わせていただきます。  
ら ※お振込金受入区分が「預金払戻請求書」のときは、本書を「振込受付書(兼手数料受取書)」として取扱わせていただきます。

- ご指定の口座から預金を払戻して振込む場合、その払戻しができないときには振込はできませんのでご注意ください。
- 振込先金融機関・支店へは、依頼人名(カナ文字)・受取人名(カナ文字)のほか預金種目・口座番号を通知します。
- 振込依頼書に記載相違などの不備があった場合には、照会等のために振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器、回線の障害によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- この振込金受取書または振込受付書は、振込ができない場合などに必要となりますので、大切に保管してください。

<ろうきん>をご利用いただきましてありがとうございます。  
今後ともよろしくご依頼申し上げます。

ろうきん

取扱店

出納済 29.8.17

印紙 200円  
振込金+手数料  
5万円以上  
振込受付書の場合  
貼付不要  
17号文書

領収証

秦 愛 様

様

No. \_\_\_\_\_

★ ¥ 58,250 -

内訳

現金 \_\_\_\_\_

小切手 \_\_\_\_\_ /

手形 \_\_\_\_\_ /

消費税額等(%) \_\_\_\_\_

但 63回日本母親大会費用

2017年 8 月 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

高知県母親運動連絡会

〒780-0850 高知市丸の内2-1-10 高知城ホール  
TEL・FAX 088-873-9066

コクヨ ウケ-98

↓ 弁当代 750円が入っています

# 旅 費 明 細 書

受命者順位 1

月 日	出発地	経 路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃			船 賃	航空賃	車 賃		日 当	宿 泊 料		計
					営業 換算	運賃	急 行料			定額	実費額		夜 数	定額	
19	高知駅前 (6:15)	羽田空港	岩手大学前 (12:10)	盛岡市	538.4	8,420	6,520		(特割3) 29,890	1,340					46,660
	岩手大学前 (17:00)						490								
20	総合アリーナ前 (15:00)	羽田空港	高知駅前 (20:50)		538.4	8,420	6,520		(特割21) 24,590	490			1	14,800	17,800
															0
															0
															0
支 度 料															
旅行雑費															
合 計					1,076.8	16,840	13,040		54,480	0	2,320	6,000	2	14,800	107,480

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。  
 ※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。  
 ※ 8/20の移動については同一地域内旅行のため交通費は不支給とする。

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

円

規則様式第8号(第6条関係)

行政視察報告書

報告者氏名(視察代表者) はた 愛



1 視察者氏名

はた 愛			
------	--	--	--

2 視察期間 2017年8月19・20日

3 視察先, 視察事項, 選定理由, 視察結果等

視 察 日 視 察 先	視察事項及び 選 定 理 由	視 察 結 果 (参考となった事項, 考察)
8月19日(土)	分科会 子どもの貧困	講演者：笹山尚人弁護士 東京法律事務所 見えにくい貧困(ブラックバイト、奨学金、 就学援助、給食無料化、子ども食堂)につい て、憲法25条の生活の保障、13条個人の尊 厳、27条勤労の権利と義務、26条教育を受け る権利、23条学問の自由、19条思想、良心の 自由など憲法のもとに保障と支援がされなけ ればならない問題であり、改めて政治、行政 の責任の大きさを学ぶ。自己責任化されやす く、見えにくい貧困問題を可視化していくこ とも重要だと感じた。全国的な共通課題は① 給食費の無償化、②医療費の無料化、③就学 援助・奨学金の充実であり、経済的負担の軽 減を求める声が各県のアンケートからも明ら かとなる。こども食堂では高知の取り組みは 一歩進んでいる方で、これから立ち上げたい という声が多かった。保健所や学校など行政 の関わりが共通課題とわかった。高知市にお いてはさらに充実が必要な分野であり、少子 化、晩婚化、働き方改革などの対策につな がる様、予算も重点化、増やす必要があると思 った。

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

※ 主要な関係資料の写しを添付してください。

規則様式第8号(第6条関係)

行政視察報告書

報告者氏名(視察代表者) はた 愛



1 視察者氏名

はた 愛			
------	--	--	--

2 視察期間 2017年8月19・20日

3 視察先, 視察事項, 選定理由, 視察結果等

視 察 日 視 察 先	視察事項及び 選 定 理 由	視 察 結 果 (参考となった事項, 考察)
8月20日(日)	全大会 「写真で伝える世界、東北の今」	講演者：安田夏津紀 フォトジャーナリスト ①カンボジア②岩手③シリア、各社会情勢について報告。カンボジアは内戦後平和協定が結ばれ20年以上が経過するがいまだに地雷によって人々の命、身体が奪われ続けている。現在400万個残っている地雷をなくすには100年はかかる。紙の上で平和協定が結ばれても住民が傷つき続けなければいけない戦争はなくそうと思う。②岩手は東日本大震災から6年半、7万本の松の内、一本だけ生き残ったのが「奇跡の一本松」。圧倒的に壊された街で何をしたらいいのか苦しむ人々、それでも人は故郷の生活に戻ろうとする。生きようとがんばる各世代の姿がわかった。③ISに支配され巻き込まれる市民、油田に放たれた火による黒煙で太陽の光が届かない街、シリア国民2200万人の半数が難民となってバラバラに暮らす。人間関係を尊重する民族にとっては悲劇であると思う。シリアの人の話し「ISでも政府でもなく、無関心こそが私達を苦しめる」この言葉が心に響いた。

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

※ 主要な関係資料の写しを添付してください。

視察に係る旅費交通費の内訳は、別紙のとおり。

## 見えにくい貧困

～ブラックバイト、奨学金、就学援助、給食費無料化、子ども食堂～

170819 笹山 尚人  
(弁護士 東京法律事務所)

### 第 1 「貧困」をどう捉えるか

#### 1 「貧困」に関する様々な指標

#### 2 「貧困」の捉え方

憲法第 25 条を中心に、憲法上の人権の実現が社会的要因によって阻まれている状況

⇒日本国憲法の目標 日本国憲法第 13 条「個人の尊厳」の実現  
統治機構や戦争の放棄はこの目標のための手段

#### 3 人権と貧困

ブラックバイトは、憲法第 27 条の実現の問題。

奨学金や就学援助、給食費無料化は、憲法第 26 条、憲法第 23 条の問題。

子ども食堂は、憲法第 25 条の問題、憲法第 19 条の問題。

⇒これにとらわれない。

### 第 2 貧困のいくつかのパターン

#### 1 ブラック企業の定義（ブラック企業被害対策弁護団による）

<狭義>

「新興産業において、若者を大量に採用し、過重労働・違法労働によって使いつぶし、次々と離職に追い込む成長大企業」

<広義>

「違法な労働を強い、労働者の心身を危険にさらす企業」

#### 2 「ブラックバイト」

「学生であることを尊重しないアルバイト。フリーターの増加や非正規雇用労働の基幹化が進むなかで登場した。低賃金であるにもかかわらず、正規雇用労働者なみの義務やノルマを課されたり、学生生活に支障をきたすほどの重労働を強いられることが多い。」（大内教授の定義）

実態は、「ブラックバイト」（大内裕和・今野晴貴著、堀之内出版、1700 + 税）に詳しい。

3 奨学金、就学援助、給食費無料化

4 子ども食堂

### 第3 「貧困」が「見えにくい」

貧困の定義に該当する事案に、「社会的な気付き」がない、あるいは少ない

1 問題がそもそも知られていない

2 「貧困」ということからのイメージから日本社会が程遠い

- ・「一億総中流」
- ・「格差社会」⇒そうはいつでも、明日食べる物に困る人がどれだけいる？

3 被害者が声を上げていない

- ・被害者が問題を問題として捉え切れていない場合
- ・被害者が問題だとは気がついているが、それを発信できない場合

4 問題が自己責任化されてしまっている

5 解決の方法や費用など具体策を見いだせず結果として放置されている

6 ほかにあるか…？

- ・みなさんとの議論で！

### 第4 「見えにくい貧困」を可視化するために

1 事実の暴露

- ・単純に「これ、ひどいでしょ」というだけではなく、「責任の所在がどこにあるか」ということについての暴露も
- ・徹底した暴露を SNSでの拡散など

2 放置する政治に対抗する社会運動の構築

以上

# 8月20日(日) 全体会

## 盛岡タカヤアリーナ

9:30～ オープニング 春日流鹿踊 ..... 県立花巻農業高校鹿踊部

9:45～ 開会宣言 ..... 日本母親大会代表委員 鈴木まき子  
議長あいさつ ..... 日本母親大会代表委員 笠井貴美代

主催者あいさつ ..... 日本母親大会代表委員 木原 秀子  
現地歓迎あいさつ ..... 岩手県母親大会現地実行委員長 長尾 ゆり  
(JA岩手県女性組織協議会会長) 高橋 弘美

来賓あいさつ ..... 岩手県知事 達増 拓也さん  
盛岡市長 谷藤 裕明さん  
岩手県労働組合連合会・議長 金野 耕治さん

メッセージ・祝電紹介

10:20～ 記念講演「写真で伝える世界、東北の“今”」  
フォトジャーナリスト 安田菜津紀さん

11:30～ 被災地復興支援  
河崎なつ・母親運動資料室維持カンパの訴え…… 日本母親大会議事運営委員 衣笠 洋子

11:40～ 休憩 物産展・母親売店・書籍大バザール

12:40～ 文化行事 さんさ踊り ..... 盛岡さんさ踊り清流

13:00～ 全員のエール交歓

13:10～ 今日の運動

▶ 岩手のたたかい

▶ 全国のたたかい 核兵器廃絶へ／被災地東日本・熊本から／子どもたちは今／いのち・暮らしを守れ  
原発ゼロへ・野党は共闘／女性の地位向上／憲法守り、基地のない平和な世界を

若い世代のアピール

☆ 全国のパフォーマンス 憲法改悪許さない! 9条守ろう!

14:15～ 大会決議 ..... 長野県母親大会連絡会 吉田由美子  
大会アピール ..... 婦人民主クラブ 千葉 加代  
第64回日本母親大会へ ..... 高知県母親運動連絡会 畑山 佳代  
全員合唱「いま わたしたちは」

14:30 全体会終了



# いま わたしたちは

浅尾忠男 作詞

大西 進 作曲

G Em

1.2.3. い ま わたしたち は う まれてくるあなた

C Am G C C#dim

と { わたし の い と し い こ ど も ら に い の ち の と う と さ  
 わたし の か わ い い こ ど も ら に へ い わ の と う と さ  
 わたし の あ い す る こ ど も ら に あ お い ち き ゅ う を て

D G C Am

つ た え ま す い の ち }  
 つ た え ま す へ い わ } を う み だ す は は お や わ た し た  
 わ た し ま す み ら い

D G Am D

ち { い の ち }  
 { へ い わ } を そ だ て ま も る こ と を の ぞ み ま  
 み ら い

1.2. G 3. G C D7 G

す い す ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

活動内容報告書兼  
 政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	8月19日（土）～8月20日（日）	
	支出先	高知県母親運動連絡会等	
目的・内容・結果等	第63回日本母親大会in岩手に参加 8月19日（分科会）会場：岩手大学 テーマ「女性と人権—女性の地位向上・男女平等をめざして」の3つの分科会の中の、No.19「女性のくらし 働き方 政治参加—どうみるジェンダー格差指数111位」（コーディネーター：柴田真佐子（日本婦人団体連合会））の分科会に参加  8月20日（全体会）会場：盛岡タカヤアリーナ 開会行事ならびに記念講演「写真で伝える世界、東北の“今”」安田菜津紀（フォトジャーナリスト）など全体会に参加  ※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。		
支出金額等	項目	使途内容の明細、積算の基礎等	金額（円）
	調査研究費		
	研修費	参加費等6,500（5,000+しおり500+手数料1,000）、旅費・交通費等88,480（往復航空機&JR・バス等72,680、宿泊9,800、日当3,000×2）	94,980
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
			合計
領収証書及び支払証明書添付枚数		5枚	
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

領 収 証

日本共産党 高知市議員  
浜口 様

No. 0014744

金額			百	千	円
	¥	29	880		

但し 2017年8月16日 上記正に領収いたしました

収 入  
印 紙

内訳  
税抜  
金額  
消費税額等  
( %)

高知県知事登録第3-73号  
(有)えびす興産 太平洋トラベル  
代表取締役 岡本 直人  
〒780-0074 高知県高知市南金田11-19-2F  
TEL. 088-882-3353 FAX. 088-882-3376

扱者印

領 収 証

日本共産党 高知市議員  
浜口佳寿子 様

No. \_\_\_\_\_

★ ¥ 17,450 -

内 訳  
現金  
小切手 /  
手 形 /  
消費税額等 ( %)

但 日本母親大会費  
2017年8月2日 上記正に領収いたしました

収入印紙

高知県母親運動連絡会

〒780-0850 高知市丸の内2-1-10 高知城ホール  
TEL・FAX 088-873-9066



WEB f9423d680e6f99d9e5353d3e2b46308c  
2017年07月04日 16:04

**領収書** (運賃/料金専用)  
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM : 日本共産党高知市議団 浜口佳寿子 様

金額

THE SUM OF : **¥ 21,790 円** (税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃/料金として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	55015068156502
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2017年06月30日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社  
Japan Airlines Co., Ltd.

**ご利用区間・運賃明細**

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
HAMAGUCHI KAZUKO 様	8月19日(土)	高知	東京(羽田)	JAL490	先得割引-タイプB	¥21,790

合計金額

**¥21,790**



WEB ce79cc0d94b4e5ffd4a67ad275c7f995

2017年08月14日 21:49

**領収書** (運賃/料金専用)  
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM : 日本共産党高知市議団 浜口佳寿子 様

金額

THE SUM OF : **¥ 18,290 円** (税込み)

但し	IN PAYMENT OF	運賃/料金として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	55015068257910
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2017年07月04日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社  
Japan Airlines Co., Ltd.

**ご利用区間・運賃明細**

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
HAMAGUCHI KAZUKO 様	8月20日(日)	東京(羽田)	高知	JAL499	先得割引-タイプB	¥18,290

合計金額

**¥ 18,290**

規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金2,320円也
内 容	高知駅～高知龍馬空港 空港連絡バス往復料金(参考様式金額欄①) 羽田空港国内線第1ビル駅～浜松町駅 東京モノレール往復料金(参考様式金額欄②)
支 払 先	とさでん交通、東京モノレール
支 払 年 月 日	2017年8月19日(土)、20日(日)
理 由	<input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。 <input type="checkbox"/> 領収証書に不備がありますので、下記のとおり補正します。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(下記のとおり)  参考様式1「視察にかかる旅費交通費」の①および② 合計 2,320円 ⇒乗車時に自動券売機で購入のため [(①670+②490)×2]  ※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。


上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄 様

2017年 8 月 28 日

依頼者氏名

浜口 佳寿子 

上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年 8 月 28 日

会 派 名 日本共産党

代表者氏名 下本 文雄 

参考様式1 視察に係る旅費交通費（規則様式第8号別紙）

別紙

視察に係る旅費交通費

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
8/19	高知駅前 ～高知龍馬空港	空港バス	回数券670円	① 670
〃	高知龍馬空港 ～羽田空港	JAL490 便	先得割引B	21,790
〃	羽田空港第1ビル 駅～浜松町駅	東京モノレ ール		② 490
〃	浜松町駅 ～盛岡駅	JR 東日本	往復（浜松町～東京～盛 岡）	29,880※
〃	ホテルメトロポ リタン盛岡	宿泊		9,800
8/20	盛岡駅～盛岡夕 カヤアリーナ	シャトルバ ス	往復@200×2	400
〃	盛岡駅 ～浜松町駅	JR 東日本	※に含む	0
〃	浜松町駅～羽田 空港第1ビル駅	東京モノレ ール		② 490
〃	羽田空港 ～高知龍馬空港	JAL499 便	先得割引B	18,290
〃	高知龍馬空港 ～高知駅前	空港バス	回数券670円	① 670
	以下、空欄			
合 計				82,480円

※ 支出を伴わない移動（徒歩，相手方による送迎等）は記載不要。

※ 旅費は，高知市役所を出発地として計算。

規則様式第8号(第6条関係)

行政視察報告書

報告者氏名(視察代表者) 浜口 佳寿子



1 視察者氏名

浜口 佳寿子			

2 視察期間 2017年8月19日 ~ 2017年8月20日

3 視察先, 視察事項, 選定理由, 視察結果等

視察日 視察先	視察事項及び 選定理由	視察結果 (参考となった事項, 考察)
8月19日(土)  盛岡市	第63回日本母親大会 in 岩手 分科会「女性のくらし 働き方 政治参加—どう見るジェンダ ー格差指数111位」に参加する	岩手大学にて分科会に参加し、全国の男女共同参画の取組み状況や、国際的に大変遅れた女性の社会参加の実態について報告を受け、その解消に向けた全国の取組みについて意見交換を行った。助言者から、県や市が、国の家庭教育支援法策定を先取りした、教育を家庭の責任とする戦前回帰の条例制定がされ、男女共同参画行政の発展に水を差す事態が生まれていることは重大な問題であると思った。
8月20日(日)  盛岡市	第63回日本母親大会 in 岩手 全体会に参加し、安田菜津紀(フォトジャーナリスト)氏による「写真で伝える世界、東北の“今”」についての記念講演をお聞きする	盛岡タカヤアリーナにて全体会が行われ、地元岩手県知事、盛岡市長が揃って来賓として挨拶を行い、岩手の伝統舞踊などによる歓迎式典が行われた。記念講演は、安田菜津紀氏が、東日本大震災後のパートナーの故郷、陸前高田などで出会った方々の復興の実態を、また取材したシリア、カンボジアの子ども達の様子を、写真を使って話をされ、自然や国など自らどうしようもないことで、庶民、何より子ども達が政治に翻弄されることがあってはならないとの思いに心打たれた。

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

※ 主要な関係資料の写しを添付してください。

視察に係る旅費交通費の内訳は、別紙のとおり。



45 洪口 佳翔 寿子 様

高知県母親運動連絡会  
事務局発行 (担当 XXXXXXXXXX)  
電話 FAX 088-873-9066

参加費用 請求書

63回日本母親大会へのお申し込みありがとうございました。来年高知で開催される日本母親大会に向けて大いに学び交流してきましょう。

下記の通り費用の明細と請求書をお送りしますのでご確認の上、入金をお願いします。

\*現金の場合は、平日10時～18時の間にお持ち下さい。

締め切り 8月10日

振り込み先 四国労働金庫 高知支店

普通 高知県母親運動連絡会

口座番号 3276670

費用明細書

- ①基本料金 7250円 (参加費5000円、しおり500円、~~弁当750円~~、手数料1000円)
- × ②交流会費 5000円 \*除分
- ③シャトルバスチケット 全体会 盛岡駅往復 400円
- × ④交通費 往復 (航空券+JR+モノレール+保険料) \_\_\_\_\_ 円
- 片道 ( 同 ) \_\_\_\_\_ 円
- ⑤宿泊費 2泊 \_\_\_\_\_ 円
- ①泊 9,800 円
- ⑥被災地訪問 費用 参加費 2000円
- 宿泊費 (福島のみ現地支払い) \_\_\_\_\_ 円
- 交通費 往きのみ \_\_\_\_\_ 円

総合計 ¥17,450 - 円



# 旅 費 明 細 書

受命者順位

1

月 日	出発地	経 路	到着地	宿泊地	鉄 道 賃			船 賃	航空賃	車 賃		日 当	宿 泊 料		食 卓 料	計	
					営業 換算	運賃	急 行料			定額	実費額		日 数	夜 数			定額
8	高知駅前 (6:15)	羽田空港	岩手大学前 (12:10)	盛岡市	538.4	8,420	6,520		(特割3) 29,890	1,340 490						46,660	
	岩手大学前 (17:00)				0		0	1	3,000	1	14,800					17,800	
20	総合アリーナ前 (15:00)	羽田空港	高知駅前 (20:50)		538.4	8,420	6,520		(特割21) 24,590	490						43,020	
																0	
																0	
																0	
支 度 料																	
旅行雑費																	
合 計					1,076.8	16,840	13,040		54,480	0	2,320	2	6,000	1	14,800	0	107,480
(支給額) 円																	

(注) 括弧内には、在勤地の出発(予定)時刻を記載すること。

※ 高知～高知龍馬空港間は空港連絡バス往復利用。

※ 8/20の移動については同一地域内旅行のため交通費は不支給とする。

乗車券 (ゆき) (幹)

区東京都区内 → 盛岡

經由:新幹線・盛岡

8月19日から 8月26日まで有効  
券面表示の都区市内各駅下車前迄無効

¥\*\*\*

29.-8.-3 ワープ高知M1発行  
40249-01 (5-夕) C41

経1

乗車券 (かえり) (幹)

盛岡 → 区東京都区内

經由:盛岡・新幹線

8月19日から 8月26日まで有効 ¥16,840  
券面表示の都区市内各駅下車前迄無効

29.-8.-3 ワープ高知M1発行  
40249-02 (5-夕) C41

経1

新幹線特急券

東京 → 盛岡

8月19日 (10:44発) (13:01着) C24  
はやぶさ 15号 5号車 7番E席

¥6,520

N06010

29.-8.-3 ワープ高知M1 (5-夕) 20247-02席

新幹線特急券

盛岡 → 東京

8月20日 (14:50発) (17:04着) C34  
はやぶさ 22号 4号車 11番B席

¥6,520

N06010

29.-8.-3 ワープ高知M1 (5-夕) 30248-01席

いのち

生命を生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます

2017年  
第63回

# 日本母親大会

第1日目 分科会

in岩手

8月19日(土)

岩手大学、マリオス(会議室)・マリオス市民文化ホール、  
アイーナ(盛岡市内)

12:30~17:00 (受付開始11:30~)

◎特別企画「被災地訪問」(岩手・宮城・福島)

\*終了後 母親パレード(岩手大学のみ)

若い世代の企画、子どもと教育、くらしと権利、  
女性の地位向上、平和と民主主義など  
25のテーマで話し合います。

..... 会員券 1日 2,500円

1歳以上の子どもさんを保育します(両日)。申し込みは8月7日(月)までに各県母親実行委員会へ。

第2日目 全体会

記念講演

安田菜津紀さん(フォトジャーナリスト)

「写真で伝える世界、東北の“今”」

オープニング「春日流鹿踊」

(県立花巻農業高校鹿踊部)



©Rie nagata

8月20日(日)

9:30~14:30 (受付開始8:30~)

盛岡タカヤアリーナ(盛岡市内)

物産展・母親売店・書籍バザールを開催

20日(日)にお弁当が必要な方は各県母親実行委員会に注文してください。



文化行事

さんさ踊り

(盛岡さんさ踊り清流)

**主催** 第63回日本母親大会実行委員会 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館内 TEL03-3230-1836 FAX03-3230-1837

**開催** 岩手県母親大会実行委員会 岩手県盛岡市松尾町19-8 TEL・FAX 019-625-8032

**協力** 北海道・東北各県母親大会実行委員会(北海道・青森・秋田・宮城・山形・福島)

後援

〈マスコミ〉 朝日新聞社、毎日新聞、株式会社フジテレビジョン、読売新聞社、NHK、岩手日報社、毎日新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡総局、岩手日日新聞社、盛岡タイムス社、河北新報社、(株)東海新報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオもりおか、マ・シェリ

〈自治体・教育委員会〉 岩手県・同教育委員会/盛岡市・同教育委員会/宮古市・同教育委員会/大船渡市・同教育委員会/花巻市・同教育委員会/北上市・同教育委員会/久慈市・同教育委員会/遠野市・同教育委員会/一関市・同教区委員会/陸前高田市・同教育委員会/釜石市・同教育委員会/二戸市・同教育委員会/八幡平市・同教育委員会/奥州市・同教育委員会/滝沢市・同教育委員会/雫石町・同教育委員会/葛巻町・同教育委員会/岩手町・同教育委員会/紫波町・同教育委員会/矢巾町・同教育委員会/西和賀町・同教育委員会/金ケ崎町・同教育委員会/平泉町・同教育委員会/住田町・同教育委員会/大槌町・同教育委員会/山田町・同教育委員会/岩泉町・同教育委員会/軽米町・同教育委員会/洋野町・同教育委員会/一戸町・同教育委員会/田野畑村・同教育委員会/普代村・同教育委員会/野田村・同教育委員会/九戸村・同教育委員会

〈団体〉 JA全国女性組織協議会、主婦連合会、日本青年団協議会、全国消費者団体連絡会、一般社団法人岩手県PTA連合会、特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会、JA岩手県中央会、JF岩手漁連、一般社団法人岩手県母子寡婦福祉協会、岩手県保育連絡会、日本民主主義文学会盛岡支部、盛岡市自治公民館連絡協議会、もりおか女性の会、特定非営利活動法人参画プランニング・いわて、盛岡市母子寡婦福祉協会、盛岡薬剤師会、一般社団法人盛岡市歯科医師会、環境と食を考える会「駒草」、岩手大学教職員組合、公益法人盛岡観光コンベンション協会職員労働組合

	テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
①	若い世代の企画 行列のできるしゃべくりカフェ	8F803 120人	櫻庭志美子 (元保育士) 箕輪いづみ (心理カウンセラー) 高橋沙保 (ケアマネージャー) 岩泉美和子 (アンガーマネジメントファミリーター) 渡部容子 (弁護士) 大西玲子 (労働組合役員) 高橋一人 (三児の父)
②	親子で遊ぼう — おはやし劇場 つくって遊ぼう	8F812 150人	ただじゅん (表現活動家)
⑩	農業・漁業・地域を共同の力でよみがえらせよう	8F804 B 144人	高橋弘美 (JA岩手) 盛合敏子 (岩手県漁連) 内澤祥子 (いわて生協)
⑫	人間の復興担う女性たち— — 東日本大震災から学び生かすこと	5F501 90人	平賀圭子 (もりおか女性センター)
⑭	特別企画 男女平等の扉を開けた岩手の女性たち 土川マツエ・岩見ヒサ・大沢栄子・菅原礼子	8F804 A 144人	浦川陽子 (第34回日本母親大会岩手県役員) 植田朱美 (女性史研究者) 大沢栄子 (若年定年制裁判原告) 山田勝哉 (元岩手銀行従組) コーディネーター: 佐藤せつ子 (元高校教師)

## 特別企画【被災地訪問】

受付期間: 5月1日(月)～31日(水) (定員を超えた場合は抽選になります)

事前申し込みが必要です。当日は参加できません。  
参加費は、会員券とバス代(2,000円)、昼食代、宿泊費(福島)、電車代他が必要です。  
参加の決定は、各都道府県を通じてお知らせします。  
\*申込用紙は各都道府県実行委員会にあります

### ★岩手県・陸前高田訪問(定員270人) 8月19日(土)

〈往路2コース〉

- ① 8時30分集合 → 9時「盛岡駅」出発 → バスで陸前高田へ  
② 9時集合 → 9時45分「一関駅」出発 → バスで陸前高田へ①②コースが合流して、「戸羽太市長の講演」「市内被災状況の説明」

〈復路コース〉

イ、陸前高田市内見学(旧気仙中学校、旧道の駅高田松原震災遺構など。気仙大工左官伝承館内「神戸希望の灯り」等) → 一本松を見ながら → 盛岡へ  
ロ、三陸鉄道の乗車(車内学習) → バスで盛岡へ

### ★宮城県・被災地訪問(定員120人) 8月19日(土)

3コースとも、9時「仙台駅東口」集合・9時30分

「仙台駅」出発

〈仙台方面コース〉

荒浜 → 蒲生海岸 → 塩釜 → 丸文汽船で東松島の被災地見学 → バスで盛岡へ

〈石巻コース〉

石巻日和山公園(被災状況を聞く) → 女川の被害と原発の話 → 大川小学校(教職員・児童84人が犠牲) → バスで盛岡へ

〈南三陸・気仙沼・陸前高田コース〉

南三陸防災センター見学 → 歌津海岸 → 大谷海岸 → 気仙沼(被災状況見学) → 陸前高田一本松見学しながら盛岡へ

### ★福島県・相馬訪問と懇談(定員100人) 8月18日(金)～19日(土)

〈8月18日(金)〉

17時福島駅集合 → 17時20分出発 → バスで相馬市松川浦に移動・宿泊

〈8月19日(土)〉

松川浦 → 南相馬市(津波被害のようす) → 飯館村経由 → 福島市 → 昼食 → 「ふくしま復興共同センター」「子どもチーム」から福島県全体の現状と課題など報告。現地との懇談 → 新幹線で盛岡へ

# 第63回 分科会

# 8月19日(土) 12:30~17:00

(受付開始11:30)

会場 ◆岩手大学、マリオス(会議室)・マリオス市民文化ホール、アイーナ

## 会場 岩手大学(人文社会科学部)

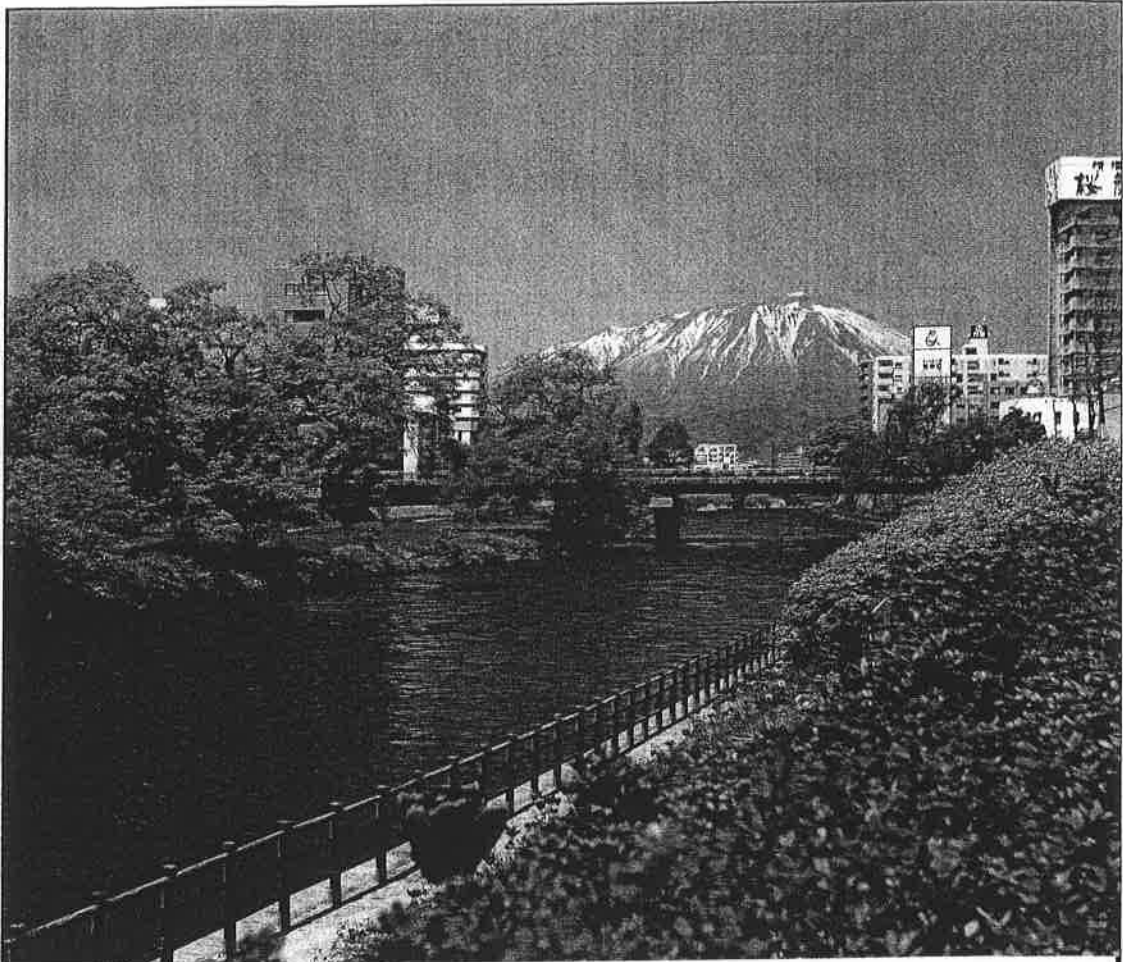
テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
⑥ 見えにくい貧困 — ブラックバイト 奨学金 子ども食堂 就学援助 給食費無償化	B棟G32 120人	笹山尚人(弁護士)
⑨ 医療・介護を国民の手に — 沢内村のたたかいに学ぶ	C棟C1 287人	日野秀逸(東北大学) 高橋典成(沢内いのちネット)
⑪ 誰もが安心して暮らしていける社会を — 貧困 年金 消費税 独居老人	A棟G1 244人	芝田英昭(立教大学)
⑬ 青い地球を守ろう — 地球温暖化 いま私たちにできること	A棟G19 121人	桃井貴子(気候ネットワーク) ゲスト:佐藤信安(元岩手大学)
⑭ 原発ゼロの日本をめざして — 放射能汚染と健康のもんだい、エネルギー基本計画	A棟G2 244人	伊東達也(原発問題住民運動全国センター)
⑮ 「働き方改革」で働き方は良くなる? — 8時間働いたら暮らしていける賃金を!	A棟G28 72人	金野耕治(いわて労連)
⑰ 多様な性を認め合う社会へ — LGBT ってなに?	B棟G31 86人	山下 梓(弘前大学)
⑰ 女性のくらし 働き方 政治参加 — どうみる ジェンダー格差指数111位	A棟G29 121人	柴田真佐子(日本婦人団体連合会)
⑱ 母親運動 — 各県・地域の運動交流	A棟G18 88人	大会運営委員会
⑲ 憲法施行70年 — 安保法制 共謀罪 市民と野党の共闘	C棟C2 287人	小澤隆一(慈恵医大)
⑳ 基地 自衛隊 南スーダン派遣と「戦争法」	B棟G11 88人	中屋敷泰一(青森県平和委員会) 平 和子(自衛官の母)
㉑ 歴史の真実を子どもたちに伝えよう — 戦争体験 慰安婦 教科書	B棟G21 88人	石山久男(歴史教育者協議会)
㉒ 核兵器廃絶へ — 世界と連帯して	A棟G22 111人	渡辺雅子(秋田県原水協)

## 会場 マリオス 18階(会議室)

テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
③ 改訂学習指導要領で学校はどう変わる — 教育の機会均等 学ぶ権利 特別な教科「道徳」	183~184 54人	川名直子(宮城県教職員組合)
④ 豊かな放課後を子どもたちに — 学童保育 部活 地域の活動	185~186 54人	遠藤利美(仙台市教職員組合)
⑤ 地域づくり・学校づくり — 学校統廃合 地域とのかかわり 町おこし	188 108人	鈴木重男(葛巻町町長)
⑦ 登校拒否・不登校 ひきこもり — 学校とのかかわり 居場所 自立 子どもの心によりそって	187 42人	北館恭子(ポランの広場)
⑧ 障害のある子もいない子も豊かな発達を — 発達障害 特別支援学級 学校のもんだい	180~181 108人	八反田史彦(宮城高教組)

## 会場 マリオス市民文化ホール 特別企画

テーマ	会場 参加人数	助言者・パネリスト
㉓ 第1部 啄木、賢治と憲法を語る 第2部 対談 石川啄木記念館館長と宮沢賢治記念館副館長	大ホール 1510人	小森陽一(東京大学) 森 義真(石川啄木記念館館長) 牛崎敏哉(宮沢賢治記念館副館長) 進行:森 三紗(詩人・宮沢賢治研究者)
㉔ 沖縄と連帯して 映画「標的の島 風(かじ)かたか」鑑賞と運動交流	小ホール 350人	東森英男(安保破壊中央実行委員会) 特別報告 大西初子(やんばる統一連)



岩手山と北上川

写真提供 公益財団法人 岩手県観光協会

第63回

日本母親大会を  
応援します

近畿日本  
ツーリスト

日本旅行  
NIPPON TRAVEL AGENCY

JTB

感動のそばに、いつも。



2017年  
第63回 みんなの話しあいのために  
日本母親大会の

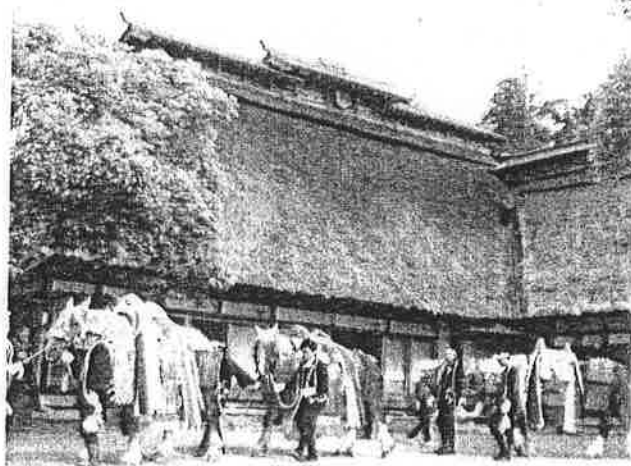
# しおり

大会  
必携

いのち  
生命を生みだす母親は  
生命を育て 生命を守ることをのぞみます

in 岩手

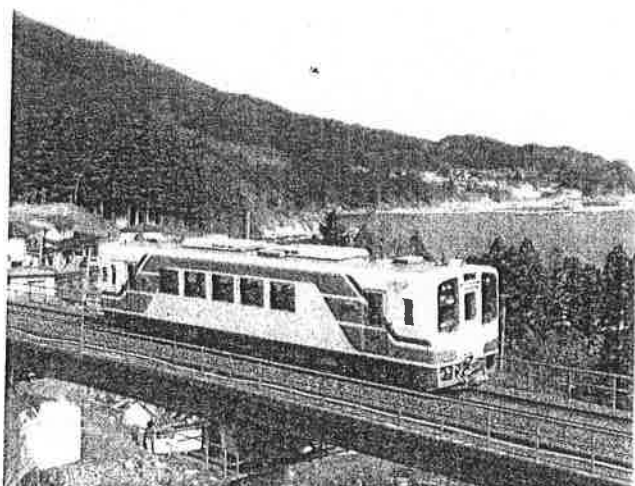
▼チャグチャグ馬コ



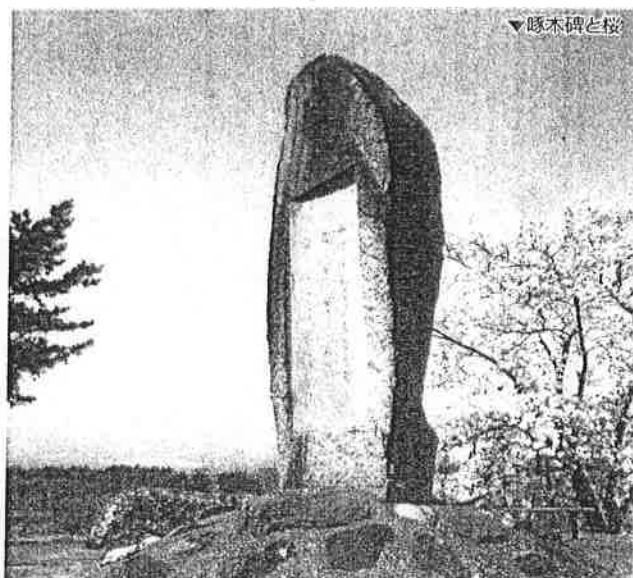
▼金色堂



▼三陸鉄道



▼啄木碑と桜



主催 第63回日本母親大会実行委員会 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館内 TEL 03-3230-1836 FAX 03-3230-1837

開催 岩手県母親大会実行委員会 岩手県盛岡市松尾町19-8 TEL/FAX 019-625-8032

協力 北海道・東北ブロック各県母親大会実行委員会 (北海道・青森・秋田・山形・宮城・福島)



とびら .....	1
もくじ .....	2
大会開催要綱 .....	3
第63回日本母親大会 実行委員会参加団体 .....	4
後援 マスコミ・中央団体・自治体・教育委員会・その他 .....	5
参加のみなさんへ .....	6
臨時保育 子どもさんを預ける方へ .....	7
ようこそ岩手へ 歓迎のことば .....	8
岩手のページ .....	10
みんなの話しあいのために	
各分野で高まる異常な「アベ政治」をめぐる国民的対決 .....	12
二宮厚美(神戸大学名誉教授)	
大会DVD・母親しんぶん・記録集・資料室維持会員 .....	17
分科会・全体会会場への交通のご案内、アクセスマップ .....	18
若い世代の企画 .....	20
分科会テーマ・助言者・パネリスト・会場一覧 .....	22
被災地訪問 .....	24
オプション企画 「きたがわてつ」と歌おう .....	25
全体会・記念講演講師、分科会・助言者からの一言アピール .....	26
分科会会場案内 .....	32
全体会案内 .....	36
全体会会場案内 .....	38
物産展・書籍バザール・母親売店 .....	40
母親大会のあゆみ .....	42
協賛広告のページ .....	52
自主交流会 .....	57



日本母親大会 in 岩手

大 会 開 催 要 綱

● 大会開催要綱 ●

8/19 (土)

分科会 12:30~17:00 (受付開始11:30~)  
岩手大学・マリオス(会議室) /  
マリオス市民文化ホール・アイーナ

- 子どものもんだい・教育のもんだい ……………8テーマ
- 暮らしのもんだい・権利のもんだい ……………7テーマ
- 女性の地位向上・男女平等をめざして ……………3テーマ
- 平和と民主主義のもんだい ……………4テーマ
- 特別企画 ……………3テーマ
- 特別企画「被災地訪問」 ……………5テーマ

8/20 (日)

全体会  
9:30~14:30 (受付開始8:30~)  
盛岡タカヤアリーナ

- オープニング 花農春日流鹿踊 (県立花巻農業高校鹿踊部)
- 開会宣言 議事運営委員紹介 議長就任
- 主催者あいさつ 現地歓迎あいさつ
- 来賓あいさつ・紹介・祝電・メッセージ披露
- 記念講演 写真で伝える世界、東北の“今”  
講師 安田菜津紀さん(フォトジャーナリスト)

○被災地支援、河崎なつ記念・母親運動資料室維持カンパの訴え

～ 休 憩 ～ 物産展、母親売店、書籍バザール

- 文化行事 さんさ踊り (盛岡さんさ踊り清流)
- 全員のエール交歓
- 今日の運動 岩手・全国
- 大会の決議・アピール
- 閉会あいさつ
- 全員合唱



改

(参考)

2017年

63回 日本母親大会 in 岩手

ご案内

2017年4月

高知県母親運動連絡会

8月19日(土) 12:30~17:00 分科会・特別企画・被災地訪問

会場：岩手大学、盛岡マリノス、アイーナ

\*被災地訪問は別紙チラシ参照、(申し込み締め切りは5月20日、県母連へ)

8月20日(日) 9:30~14:30 全体会

会場：盛岡タカヤアリーナ

\*フィナーレは高知県が舞台で来年の高知大会をアピールします。飛行機の最終便に間に合わない
ので後泊して帰ります。

さあ！来年は高知で日本母親大会、貯金して、予定をたてて、岩手の母親大会をそして高知大会へ！！

高知県の予定

募集

40人 (2泊3日 30人、被災地訪問は10人、前泊で3泊4日)

参加申し込み

5月15日~7月10日 高知県母親運動連絡会へFAXでお申し込み下さい。

\*被災地訪問の申し込みは、5月1日~5月20日まで (抽選です。)

(被災地訪問は、前泊が条件です。5月20日までに行き先を決めて県母連へFAXで)

\*\*\*詳しい内容は、日本母親大会第1次チラシをごらんください。\*\*\*

行程

Aコース 2泊・3日 19日(土) JAL 高知龍馬空港 → → → → 羽田空港 → 浜松町駅 → 東京駅 → 盛岡駅 分科会へ
7:10発 8:50着 10:44発 13:01着

\*分科会に約40分遅れる見込みです。ご了承下さい。

\*分科会終了後、岩手大学参加者のみのパレードがあります。(自由参加)

\*19:00~ホテルで交流会を行います。(自由参加)

20日(日) 全体会へ参加

\*最後のステージで来年開催する高知からのアピールを行います。

21日(月) 午前中は観光を予定、午後帰路に

盛岡駅 → 東京駅 → 浜松町駅 → 羽田空港 → 高知龍馬空港
14:50発 JAL 18:55発 20:25着

Bコース 3泊・4日 18日(金) 「被災地訪問」希望者のみのコースです。

JAL 高知龍馬空港 → → → → 羽田空港 → 浜松町駅 → 東京駅 → 盛岡駅
7:10発 8:50着 10:44発 13:01着

\*福島県見学コースのみ 17:00福島駅集合、バスで相馬市松川浦の宿「かんのや」へ

\*他の5コースは参加が決まりしホテルを探します。

19日(土) 被災地訪問・分科会

\*見学コース別に集合時間・場所がことなります。ご注意ください。

\*終了後は高知県のホテルに合流します。

\*現地バス代、宿泊費、昼食代、入館料、夕食代などは別料金です。(予想 15000円程度)

20日(日) 全体会へ参加

21日(月) 観光・帰路に

ホテル 19日・20日 泊 メトロポリタン盛岡 〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44(電話 019-625-1211)
シングル朝食付き 20部屋 11,000円(お1人様)
ツイン朝食付き 10室 10,000円(お1人様)

費用 ……試算です。参加者には個別に請求書をお送りします。7月25日までにお支払いください。

2泊3日の試算 …… 93,750円 3泊4日の試算 …… 108,750円

基本料金 = (参加費二日間5,000円 + 日本のしおり500円 + 弁当750円 + 手数料1000円) 7,250円

ホテル代 ツイン2泊 20,000円(シングルは+2000円)

交通費 航空券往復 JAL 37400円 JR.+モノレール+新幹線 29,100円

合計 66,500円

\*19日19:00~ 交流会に参加しませんか? (別料金です) 30人予約 5000円程度
メトロポリタン盛岡 1階和食レストラン むかい鶴

連絡先

高知県母親運動連絡会 高知市丸ノ内2-1-10高知城ホール(担当
電話・FAX ともに 088-873-9066へ

様式第7号(第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名： 日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	8月 23日(水) ~ 月 日( )	
	支出先	土佐経済同友会	
	目的・内容・結果等	<p>高知市議会「99会」勉強会                  開催日時：平成29年8月23日午後3時～                  開催場所：高知市役所たかじょう庁舎3F会議室                  開催目的：高知県内の経済の活性化が課題となっており、その調査の一環として、土佐経済同会の代表幹事及び副代表幹事を招聘して学習会を開催したものです。                  ※ 行政視察を行った場合は、「行政視察報告書」を添付してください。</p>	
支出金額等	項目	使途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費	講師謝礼金(30,000円を4会派で分割)	7,500円
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報公聴費		
	人件費		
	事務諸費		
			合計
領収証書及び支払証明書添付枚数		1	枚
備考	領収証等の添付書類はコピーであり、原本は、市民クラブより提出しています。		

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

領 収 証

平成29年8月23日

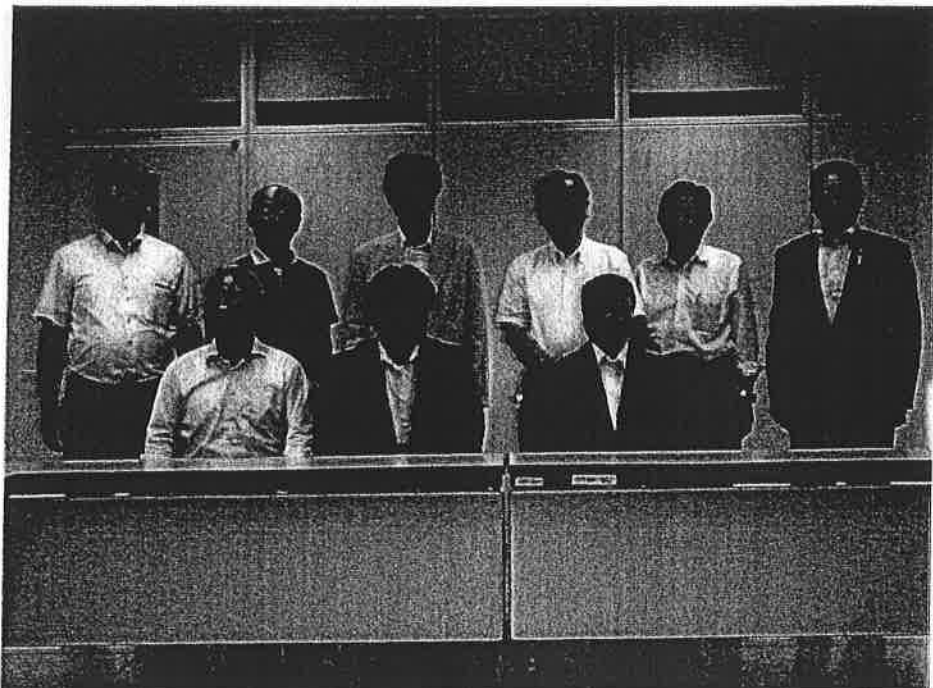
高知市議会「99会」勉強会 御中

¥ 30,000円 也

但し、上記勉強会の講師料として。

土佐経済同友会

代表幹事 吉澤文治 印



平成29年8月23日開催 たかじょう庁舎3F会議室  
(浜田 拓・寺内 憲資議員は、都合により午後5時40分に退席)

# 土佐経済同友会の設立と行動の原則

## (規約のポイント)

1. 産業、企業規模、地域を問わず、見識と志を持った経済人、有識者が広く結集できること。
  1. 入会金、会費を可能な限り低く抑えることにより、個人も含め様々な立場の人が加入しやすいものとした。
  2. 本会の趣旨に賛同する学識経験者や経済実務経験者を特別会員、顧問とし、入会金、会費を免除。ただし、議決権は持たない。
  3. 全県を包含する活動を目指す。
2. 年齢、性別、地位、出身企業等を超えて客観的な立場から自由に意見を述べ、オープンに議論する。既成の観念に縛られることなく、常に自ら「考え、行動する」こと。
  1. 年齢、性別、地位、個別利害を超えた思い切った発言、議論を行えるよう、会員間の序列を作らない（「さん」付けで呼び合う等）。代表幹事等は対外的には本会の代表であるが、内部では基本的に世話人との位置付けとする。
  2. 出身業種、企業からの影響を最小化するため、業種別委員会ではなく、横断的に事柄を扱えるような委員会の構成とする。
  3. 民間、行政に対して、時にはかたき役となることも辞さない。代表幹事等役員は本会の盾となり、また矛となる役割を負う。
  4. 事務局を四国銀行が快く引き受けてくれたが、これによって金融についての提言等に支障が出る恐れが生じた場合には、本会自前の事務局の設立を検討する。考え、議論するだけでなく、行動する。
3. 将来にわたって設立の趣旨を見失うことなく、常に高知の将来を念頭において運営される集まりたるべきこと。
  1. 検討対象とする事項は、高知の現状、将来に関するものを、実情に即し、また長期展望の下に、自らの判断で選択する。
  2. 民間や行政をリードすることも目標の一つ。他の経済団体とも議論し、協力や補完ができることは積極的に行う。大学、研究機関等の連携も有用。
  3. 会員について年齢制限は設けないが、幹事については一定の年齢を超えたところで、特別幹事として助言活動や新たな発想の支援を行うことを通じて、幹事会における後進の育成、幹事会の不断の活性化を図る。ただし、代表幹事については対外活動の連続性に配慮する。
4. 3部会制・・・部会は組織運営のための庶務的な事項を担当する。
  1. 企画部会は年間事業計画の企画・運営、並びに一般広報、外部諸団体との交流を担当する。
  2. 総務部会は組織・規約に関する企画・立案、予算の調整、総会の企画・運営、会報・会員名簿等の編集・発行、並びにその他の事項を担当する。
  3. 政策部会は幹事会、代表幹事会で検討・審議することが決定された事項を担当する。
5. テーマ別委員会制・・・委員会はテーマ別に分かれ、各テーマ毎に調査、研究を行う。

会員は希望の委員会に重複して加入できる。年度毎に重点的に活動するテーマを決め、これに対応して委員会を設置する。委員会活動の形骸化を防ぐため、委員会のスクラップアンドビルドを図る。

取り扱うテーマは、狭い意味での経済問題に限定されず、経済活動の重要な基礎となる社会・教育関係の事項も含まれる。

土佐経済同友会 提言等

年月	標題	委員会
1998. 9	高知駅前再開発に関する提言	交通インフラ委員会
1999. 1	高知空港ターミナルビル関係にかかる提言 <i>花鳥の森</i>	交通インフラ委員会
1999. 5	土佐くろしお鉄道阿佐線問題に関する提言	交通インフラ委員会
1999.11	高知新港総括レポート	高知新港委員会
2000. 1	ベンチャー企業が根付くための素地づくりに関する提案	ベンチャー委員会
2000. 3	これからの地方自治に関する提言	地方行政委員会
2000. 7	四国の『遍路文化』を世界の人々に	四国経済同友会合同
2000. 9	循環型社会の枠組みを構築するための提言	環境問題委員会
2000.12	はりまや町東地区を感性豊かな商業地域に	商業地域委員会
2001.12	グローバル化時代の高知県教育改革	人づくり委員会
2002. 1	次世代へのアンケート調査報告	少子高齢社会委員会
2002. 4	市町村合併の促進に向けての緊急提言	地方行財政全国会議
2002. 6	高知県における産学官連携スキーム創設	学研機関活用委員会
2002. 7	急務となった高知県「地域おこし」の推進	中山間委員会
2002. 7	高知県における市町村合併に関する緊急提言	地方行政委員会
2002.10	自ら考え、行動する地域づくりを目指して—地域主権確立への 行財政改革の提言—	地方行財政全国会議
2002.10	インターンシップについての提言	人づくり委員会
2002.12	「県民参加の森づくり」による水源地域の振興に関する提言	中山間委員会
2002.12	南はりまや町周辺の整備について	商業地域委員会
2003. 8	高知県観光コンベンション協会による体験観光プログラムの開 発と観光客誘致への提案	観光振興委員会
2005. 2	民間経営手法を活用した地方行財政改革に関する提言	地方行財政改革委員会
2005. 4	ITを活用した観光振興策の提言	観光振興委員会
2005. 5	観光特使設置の提案	観光振興委員会
2005. 6	J R高知駅前広場の整備に関する提言	交通インフラ委員会
2005. 9	中心市街地活性化と高知大学一部施設の都心移転等に関する緊 急提言 <i>下子小 林の町 直田 2279</i>	都心キャンパス委員会
2005.11	新しい地域主権型システム実現に向けた提言 地方公務員制度改革への10の提言	地方行財政全国会議
2006. 7	高知県経済の現状・課題と活性化（中間報告）	地域経済活性化委員会
2006.11	四国遍路文化のユネスコ世界遺産暫定登録に向けての緊急アピ ール	四国経済同友会合同
2007.8	高知県経済活性化の方向性と活性化策に関する提言	地域経済活性化委員会
2008.11	高知県における第一次産業活性化に向けた提言	第一次産業活性化委員会
2009.6	【未来に遺す高知の宝物 高知遺産】の提言	観光振興委員会
2009.6	『“日本一輝く田舎” = “土佐的循環型社会” づくり』その具体 的提言	環境問題委員会
2009.9	はりまや橋周辺活性化に関する緊急提言	はりまや橋周辺活性化委員会
2011.3	都心再生に向けての緊急提言 ～高知県の核の再生と振興のために～	地域貢献キャンパス委員会
2011.3	『高知県への移住事業の拡大展開による経済活性化』 その具体的提言	健康福祉委員会
2011.12	高知県10年ビジョンの提言 「日本一の幸福実感県・高知」～土佐的循環型・共生社会の実現	政策部会 <i>花鳥の森</i>
2013.11	高知県 GKH 県民会議（仮称）設置の提言	GKH 委員会
2013.11	土佐的循環型社会の実現に向けて	環境問題委員会

*↓ 高知県行政ビジョン 10年後の高知 2010-全県統一高知県 (GKH) 土佐的循環型社会の実現に向けて 提言目的の2. 14頁参照*





**高知県10年ビジョンの提言**  
**「日本一の幸福実感県・高知」～土佐的循環型・共生社会の実現**

提言

2011年12月

**土佐経済同友会**

（好意）  
高知経済大学 - (60班)  
10L 高知経済  
社会関係学

現在  
9 常務会 検討中

目次

(はじめに)	..... 1
(問題意識～10年ビジョンの必要性)	
高知県 10年ビジョンの提言 (要約)	..... 3
I. 高知県経済・社会の10年展望	..... 8
II. (提言1) 10年後に目指すべきトータルビジョン	..... 17
III. (提言2) 高知県10年ビジョン実現のための アクションプラン	..... 21
(おわりに)	..... 47

1998年提言  
11月

提言

## (はじめに)

- 土佐経済同友会では、本年、新たに政策部会を設置し、以下のような問題意識のもと、今後10年間の高知県経済・社会の変化を見据えたうえで、本県が目指すべき将来像・ビジョンについて検討を重ねてきた。その際には、日本経済研究センター岩田理事長（前日本銀行副総裁）をはじめ、外部の有識者による講演や勉強会を開催したほか、住民の幸福度の向上を目標にした行政を展開している東京都荒川区を訪問し、意見交換を実施した。また、各委員会においても、ビジョンに沿った活性化策について幅広く意見の集約を行ってきた。その成果として、ここに土佐経済同友会としての高知県10年ビジョンの提言を取りまとめる。

## (問題意識～10年ビジョンの必要性)

- 土佐経済同友会では、2007年に「高知県経済活性化の方向性と活性化策に関する提言」を取りまとめ、高知県のあるべき将来像として「日本一輝く田舎」を掲げ、第一次産業の再編とその周辺加工業の振興、健康サービス産業の振興および観光振興に重点を置いた活性化策を提言した。その後、高知県では、同提言も含めて県民各層の意見を幅広く集約した形で産業振興計画を策定し、尾崎知事の強力なリーダーシップのもと、各産業分野における地産外商の推進、産業間の連携強化、人材育成・担い手の確保を柱とする産業振興策と地域アクションプランに鋭意取り組んでいる。この3年間で、アンテナショップ「まるごと高知」の立ち上げ、「土佐・龍馬であい博」等のイベントを梃子にした観光振興など、目に見える多くの成果が現れているほか、官民一体となったPDCAサイクルが着実に定着してきていると評価できる。
- もっとも、人口減少・高齢化のピッチは今後も一段と加速することが予想されるなど、本県の経済・社会を取り巻く環境は引続き厳しい。近年、本県では公共工事の減少に加え、民間設備投資も低迷し、県全体の資本蓄積がマイナスに転じているが、その背景には、県経済の将来展望の欠如があるように窺われる。上記の提言と産業振興計画のいずれも、現状の強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、利用すべき環境(Opportunities)、脅威となる環境(Threats)を整理したうえで、取るべき戦略を検討するSWOT分析に基づいて策定されているが、現状をベースとした分析だけに、ややもすれば中長期的な視点に欠ける嫌いがある。既存産業を中心とした活性化・産業振興策の短期的なPDCAサイクルのみでは、新しい産業や担い手の育成といった点でダイナミックな方向を打ち出し難い。

- 日本経済の「失われた 20 年」の根本的な要因は、経済のグローバル化、IT 化が進展する中で、わが国が高度成長期に代わる新たな成長戦略を描けてこなかったところであり、今般の東日本大震災によって、そのことが改めて問われている。90 年代後半以降、本県も含めた地方の停滞が顕著となったのも、単に少子高齢化・人口減少が先行しているということだけではなく、高度成長期以来の中央と地方の関係、成長パターンが限界を迎えていることに本質的な背景があると言える。そうした理解に立てば、今求められるべきは、日本の社会経済の進むべき方向に歩調を合わせる形で、中長期的な視点から、地方のあり方・目指すべき将来像を考えていくことではないだろうか。
- 厳しい財政事情と激しい地域間競争の中で、高知県の活性化を果たしていくためには、「選択と集中」が必要であり、そのためには目指すべき将来像についての県民のコンセンサスが不可欠である。また、地域活性化に対する県民の参画意識を一段と高めていくためには、共通の価値基準・規範が重要であり、そうした意味でも将来に向けたビジョンが求められる。
- 冒頭に挙げた提言以降、土佐経済同友会では、第一次産業活性化、環境問題、観光振興、産学官連携、健康福祉の各分野についての提言を行ってきた。またその際には、「日本一輝く田舎」という理念を念頭に、「県民にとっての幸せとは何か」を重視する、国民（県民）総幸福（GNH）を価値基準に据えていく姿勢を打ち出し、2010 年には、「国民総幸福（GNH）の視点から始める新たな成長理念の構築」をテーマに、GNH を実践するブータン王国のジグミ・ティンレイ首相を招いて、全国経済同友会セミナーを開催した。今回の高知県 10 年ビジョンの検討は、そうした土佐経済同友会の最近の取り組みの延長線上に位置付けられる。
- 以上の問題意識・経緯を踏まえて、今回、政策部会では、10 年という中期の期間を設定し、その間に予想される経済・社会の変化を展望したうえで、高知県が今後目指すべき方向性・規範と具体的な社会の姿を、トータルビジョン・サブビジョンの形で示すとともに、その実現に向けたアクションプランを検討・整理した。

2011 年 12 月

土佐経済同友会

代表幹事	久松 朋水
代表幹事	木村 祐二
代表幹事	西山 彰一
政策部会長	野原 強

## 高知県 10年ビジョンの提言（要約）

### 提言 1. 10年後に目指すべきトータルビジョン

『「日本一の幸福実感県・高知」～土佐的循環型・共生社会の実現』を目指す

#### <サブビジョン～土佐的循環型・共生社会の姿>

- I. 高知県独自の幸福度指標（高知県民総幸福度・GKH〈Gross Kochi Happiness〉）が導入され、その向上を目指して、行政・企業・市民・教育機関が自律ある取り組みを展開している。「日本一の幸福実感県・高知」の魅力が全国に発信され、地域ブランドとして確立している。
- II. 地域の誇りである自然環境・文化が守られ、持続可能な消費生活・ライフスタイルが定着している。環境保全型の第一次産業の営み、食料・エネルギーの県内自給率の目標値達成に向けた取り組みが着実に進んでいる。
- III. 高知市等の都市部では、中核エリアへの住宅、商業施設、医療機関、教育文化施設の集積が進み、地域包括的な医療・介護サービス、便利な消費環境、魅力ある生涯学習機会の提供によって、高齢者が元気に暮らしている。
- IV. 中山間地域では、環境保全と食料・エネルギーの循環によって地域のまとまりが保たれ、行政と「新しい公共」を担う企業・市民の取り組み、県外からの人の交流、情報通信技術の活用によって、温かな地域コミュニティが守られている。
- V. 地域コミュニティを支える組織の再構築が図られ、南海地震に備えて、防災インフラの整備が優先的に進められるとともに、行政・市民・企業が協調して地域の防災体制を築いている。

VI. 「日本一の幸福実感県・高知」のブランド化によって、県内外のヒト・モノの交流が生まれ、第一次産業や観光等の産業活性化・担い手の確保に繋がっている。また、産学官民の連携のもと、医療・介護関連サービスや環境・エネルギー、防災技術関連を中心とした新しい産業が、若者の雇用の受け皿として成長している。

VII. 人口減少のもとでも、高齢者が地域のために元気に働き続け、女性の雇用機会も増えている。将来の地域社会・経済を支える若い人材が育っている。

- 高知県には、現在、県民が一体となって目指す社会の将来像・中期ビジョンが存在しない。急速に進む人口減少、地域社会の変化の中で、活力ある社会を築いていくためには、県民が共通の価値基準を持って、ひとつのビジョンに向っていく必要がある。
- 地域の豊かさは、住民がその地域に暮らすことで幸福かどうか、所得等の経済指標だけでなく、環境、福祉、コミュニティ機能など広い意味での生活水準と、それに対する住民の充足感によって測られるべきである。そうした考え方のもと、県民総幸福度の向上を県民共通の価値基準に据え、中期ビジョンとして、「日本一の幸福実感県・高知」の実現を目指すことを提唱する。
- 豊かな自然環境と恵まれた第一次産品は高知県の誇りであり、明るい県民性と温かな地域コミュニティの存在とともに、高知に暮らす幸福感の基礎にある。「日本一の幸福実感県」とは、他に何処にもない高知らしい豊かさを追求することであり、そのためには、土佐の豊かな自然を活かした「循環型社会」、地域住民がお互いを支え合い、高齢者も元気に暮らす「共生社会」の実現を目指すべきである。
- 「日本一の幸福実感県」の魅力を全国に発信するとともに、循環型・共生社会への仕組みづくりを進めることによって、域内外での新たな市場・担い手の育成と、県内外からの人の交流を図り、第一次産業・観光等の産業活性化と医療・介護、環境・エネルギー分野を中心とした新しい産業の成長を図っていくべきである。

## 提言 2. 高知県 10 年ビジョン実現のためのアクションプラン(骨子)

I. 高知県民総幸福度（GKH）の指標づくりとそのブランド化、  
県の中期総合戦略の策定、県内広域連携の推進

### II. 土佐的循環型・共生社会への仕組みづくり

- (1) 食料・エネルギーの地消地産の推進
- (2) 森林資源の循環利用に向けた仕組みづくり
- (3) 都市部における、元気な高齢者をターゲットにした街づくり、地域包括的な医療・介護体制の整備・充実
- (4) 中山間地域における、地域コミュニティ機能維持のためのインフラ整備、「新しい公共」によるビジネス展開・人の交流促進の支援
- (5) 小学校単位での地域コミュニティ組織の再構築と防災体制づくり

### III. 新産業の育成・既存産業の強化

- (1) 雇用の核となる医療・介護サービス、環境・エネルギー、防災関連産業の育成
- (2) 大都市圏からの元気な高齢者の二地域居住・移住の促進
- (3) 市民参加型農園の拡充、農業生産法人における高齢者雇用の促進
- (4) 6次産業化・地産外商の更なる推進のための仕組みづくり
- (5) 「日本一の幸福実感県・高知」のイメージ戦略・ブランド化による持続可能な観光の仕組みづくり
- (6) 産業育成のための産学官民連携の推進

### IV. 共生社会を支える人づくり

- (1) 地域コミュニティの中核となる人材の育成・人的ネットワーク形成
- (2) 高知県出身者・大都市圏からの移住者との交流機会の拡大
- (3) 女性の働きやすい環境づくり

## Ⅱ. (提言 1) 10 年後に目指すべきトータルビジョン

### 1. トータルビジョンの考え方・視点

- 地域の豊かさは、住民がその地域に暮らすことで幸福かどうか、より具体的には、所得等の経済指標だけでなく、環境、福祉、コミュニティ機能などの広い意味での生活水準と、それに対する住民の充足度によって測られるべきである。経済指標のみに依らない豊かさの指標とそれに基づく政策は、ブータンのGNH (Gross National Happiness) が有名であるが、EU各国でも同様の動きが広がっているほか、わが国でも国・地公体レベルで、新たな取り組みが始まっている。

地域が一体となって目指していくべきは、そうした豊かさの実現である。こうした考え方のもと、高知県 10 年ビジョンでは、「日本一の幸福実感県・高知」の実現をトータルビジョンに掲げ、本県独自の幸福度指標（高知県民総幸福度・GKH<Gross Kochi Happiness>）の向上を県民が一体となって目指していくことを提唱する。

- 「幸福の経済学」の研究によれば、雇用や物価等の経済の安定と地域自治への参画の度合いが、人々の主観的幸福度を規定する重要な要素となっている。人口減少の影響等今後 10 年間の本県の経済・社会の変化を展望すれば、地域経済の活性化と住民の参画による地域コミュニティ機能の維持・再生とを両立させていくことが求められる。住民の主観的幸福度を、関連する社会分野の指標と合わせて、その向上を目指していくことは、ビジョンに対する住民の参画意識を高める意味でも重要である。

- 豊かな自然と第一次産品に恵まれていることは、高知県の強みであり、県民の幸福感に繋がるものである。そうした意味で、食料・エネルギー・森林資源の徹底した循環利用によって、自然環境と第一次産業の基盤を確りとしたものにしていく必要がある。一方、人口減少・高齢化の先進県としては、住民が共に助け合いながら生きていく地域への仕組みづくりとそれへの参画が、幸福実感を高めていくうえで重要である。さらに、南海地震が想定されている本県においては、防災面からも共生の視点が不可欠である。これらは、いずれの点も高知県の強みを訴求しつつ、本県の抱える中期的な課題を乗り越えていく意味で、「土佐的」な社会の方向性である。

- 以上の点から、「日本一の幸福実感県・高知」に向けて目指すべきは、「土佐的循環型・共生社会」の実現であり、そのことをトータルビジョンに掲げ、具体的な社会の姿をサブビジョンに示す。



(10年後に目指すべきトータルビジョン)

「日本一の幸福実感県・高知」～土佐的循環型・共生社会の実現

(サブビジョン～土佐的循環型・共生社会の姿)

- I. 高知県独自の幸福度指標（高知県民総幸福度・GKH〈Gross Kochi Happiness〉）が導入され、その向上を目指して、行政・企業・市民・教育機関が自律ある取り組みを展開している。「日本一の幸福実感県・高知」の魅力が全国に発信され、地域ブランドとして確立している。
- II. 地域の誇りである自然環境・文化が守られ、持続可能な消費生活・ライフスタイルが定着している。環境保全型の第一次産業の営み、食料・エネルギーの県内自給率の目標値達成に向けた取り組みが着実に進んでいる。
- III. 高知市等の都市部では、中核エリアへの住宅、商業施設、医療機関、教育文化施設の集積が進み、地域包括的な医療・介護サービス、便利な消費環境、魅力ある生涯学習機会の提供によって、高齢者が元気に暮らしている。
- IV. 中山間地域では、環境保全と食料・エネルギーの循環によって地域のまとまりが保たれ、行政と「新しい公共」を担う企業・市民の取り組み、県外からの人の交流、情報通信技術の活用によって、温かな地域コミュニティが守られている。
- V. 地域コミュニティを支える組織の再構築が図られ、南海地震に備えて、防災インフラの整備が優先的に進められるとともに、行政・市民・企業が協調して地域の防災体制を築いている。
- VI. 「日本一の幸福実感県・高知」のブランド化によって、県内外のヒト・モノの交流が生まれ、第一次産業や観光等の産業活性化・担い手の確保に繋がっている。また、産学官民の連携のもと、医療・介護関連サービスや環境・エネルギー、防災技術関連を中心とした新しい産業が、若者の雇用の受け皿として成長している。
- VII. 人口減少のもとでも、高齢者が地域のために元気に働き続け、女性の雇用機会も増えている。将来の地域社会・経済を支える若い人材が育っている。

## 2. サブビジョンの考え方・視点

- サブビジョンのうち、Ⅱ～Ⅴは、土佐的循環型・共生社会の10年後の到達イメージを示したものである。このうち、サブビジョンⅡの土佐的循環型社会に向けた食料・エネルギーの県内自給率向上については、具体的な数値目標を設定したうえで、その達成に向けて取り組んでいくことが重要である。

また、共生社会の実現に向けては、医療福祉政策と都市インフラ整備の一体的な推進、「新しい公共」を担う企業・市民による地域コミュニティの再構築といった取り組みが必要となってくる。そうした視点に立って、サブビジョンⅢとⅣでは、都市部と中山間地域において、それぞれ目指すべき共生社会の姿を整理している。まず都市部では、高齢者が元気に暮らせる街づくり、具体的には中核エリアへの生活機能の集積と、地域包括的な医療・介護体制の整備を進めていくべきである。一方、中山間地域では、環境を核に循環型社会として地域のまとまりを保ちながら、インフラの整備や人の交流によってコミュニティ機能を維持していく方向が考えられる。

さらに、サブビジョンⅤに示すとおり、人口減少・高齢化のもとで、既存の地域コミュニティ組織の再構築を図るとともに、来るべき南海地震に備えて、ソフト面の防災対応に地域が協調して取り組んでいく必要がある。

- サブビジョンのⅥは、循環型・共生社会における経済活性化の方向性を示している。すなわち、住民に幸福感をもたらす地域の魅力を積極的に情報発信することによって、第一次産業や観光の需要増加に繋げるほか、若者の雇用の受け皿となるよう、医療・介護サービスや環境・エネルギー等の新しい産業の育成を重点的に推進していくべきである。
- 地理的にハンディキャップのある本県において産業振興を図っていくうえでは、まずマーケットの掘り起こし・整備を図り、それに向けて生産・物流体制を構築していくアプローチが重要である。経済活性化のアクションプランでは、そうした視点に立って、医療・介護等の新産業の育成や第一次産業における循環サイクルの強化などについて、具体的な仕組みづくりを提言する。また同様の視点から、産業振興計画における6次産業化・地産外商を一段と推進するための仕組みづくりの提言も行う。
- 近年、本県においては、公共投資・民間設備投資とも低迷し、県全体の資本蓄積がマイナスとなっているが、経済の基盤となるインフラをビジョンに沿って整備していくことが重要である。前述のとおり、循環型・共生社会の実現に向けては、医療福祉政策と都市インフラ整備を一体で考えていく必要がある。また再生可能エネルギー利用については、複数のモデルプロジェクト

### Ⅲ. (提言2) 高知県 10年ビジョン実現のためのアクションプラン

#### サブビジョンⅠ

高知県独自の幸福度指標（高知県民総幸福度・GKH〈Gross Kochi Happiness〉）が導入され、その向上を目指して、行政・企業・市民・教育機関が自律ある取り組みを展開している。「日本一の幸福実感県・高知」の魅力が全国に発信され、地域ブランドとして確立している。

#### (アクションプラン)

##### 1. 高知県民総幸福度（GKH）の指標づくり

- 地域住民の幸福度指標については、海外ではブータンのGNH（Gross National Happiness）のほか、EU諸国でも様々な指標が作成されている。またわが国でも内閣府が本年8月に試案を公表しているほか、地公体では東京都荒川区や熊本県などが独自の幸福度指標の作成に取り組んでいる。それらの指標の多くは、総合的な幸福度の指標のほかに、健康・福祉等の項目に関する住民の充足度と関連する客観データによって構成する体系が採られている。
- これらも参考に、他に何処にもない高知らしい豊かさ・幸福度の指標として、高知県民総幸福度指標・GKH（Gross Kochi Happiness）を検討する。試案としては以下のようなものが考えられる。

#### <GKH試案>

- 総合幸福度指標（「高知に暮らして幸せか」）
- 項目別指標（関連する客観指標）
  - ① 自然環境の豊かさ・身近さ  
（エネルギー県内自給率、水質等の客観的評価、山・川・海への時間距離等）
  - ② 食の豊かさ・安全  
（食料県内自給率、県外客の満足度、食品の健全性評価等）
  - ③ 人との交流度  
（年間に家族・仲間同士と飲む回数、一人当たりの酒量、移住者数等）
  - ④ 安心できる医療・介護環境  
（医療機関・介護施設の充足度、治癒率、在宅療養・介護の割合等）

## サブビジョンⅡ

地域の誇りである自然環境・文化が守られ、持続可能な消費生活・ライフスタイルが定着している。環境保全型の第一次産業の営み、食料・エネルギーの県内自給率の目標値達成に向けた取り組みが着実に進んでいる。

### (アクションプラン)

#### 1. 食料の県内自給率の向上に向けた仕組みづくり

- 高知県産の食材に囲まれた豊かな食生活は、GKHの大きな要素であり、そのために以下のような取り組みを通じて、食料の地産地消・地消地産の徹底を図り、県内自給率の向上を目指す。

(注) 地産地消……地域内で生産された食料を地域内で消費すること

地消地産……地域内で消費、必要とされる食料を地域内で生産すること

#### (1) 食のネットワークづくり

- 地産地消・地消地産による豊かな食生活を実感できるよう、食卓と生産者の距離を縮める、人・物・情報のネットワークづくりを進める。
  - 農産物の収穫・料理体験や、地元産の魚の捌き方・料理教室などの消費者と生産者の交流事業を進める。
  - 食イベント（おきゃく、豊穰祭）での生産者による直接販売を拡充する。
  - 生産者団体の運営による市民参加型農園、農業・林業・漁業体験などの消費者体験事業を展開する。
  - 量販店において県産品コーナーを一段と拡充する。生産地の取り組み紹介や、環境保全型農法など安心・安全・新鮮な食材の情報発信を進めるとともに、生産者自身による販促など顔の見える販売展開を拡大させる。
  - 直販所の取り扱い品目を拡充するとともに、安心・安全度をより高めるため、生産履歴の記帳、残留農薬のチェック等の仕組みづくりを進める。
  - 希少種の保存と有機栽培による新しい高知県産農産物の開発・情報発信を進める。
  - 生産者団体・観光関連のホームページを通じて、地元食材に関する情報提供（食材ごとの特徴、旬の時期、レシピ等）を充実させるほか、地元食材を利用した加工商品、地産地消に取り組む飲食店などの紹介を行う。

### サブビジョンⅢ

高知市等の都市部では、中核エリアへの住宅、商業施設、医療機関、教育文化施設の集積が進み、地域包括的な医療・介護サービス、便利な消費環境、魅力ある生涯学習機会の提供によって、高齢者が元気に暮らしている。

#### (アクションプラン)

#### 1. 元気な高齢者（前期高齢者）をターゲットとした街づくりの推進

##### (1) 中核エリアへ高齢者が暮らし易い住宅の集積と医療・介護施設の整備

- 中核エリアへ高齢者が暮らし易い住宅等を集積させ、人口流入を促す。とくに団塊の世代を念頭に置いた場合、元気な高齢者を対象にしたマンション等の住宅の集積を重点的に進め、それに伴って宅配サービスや在宅ケア等の周辺サービス産業の育成に繋げる。

また、医療機関自身も高齢化により世代交代が進むことが予想されるが、そうした際に複数の診療所や介護施設を集積することで、よりアクセスのし易い環境を整備していく。

- なお、中核エリアへの住宅や医療施設等の集積に当っては、南海地震に備えて、立地条件や建物の構造などについて十分な配慮が必要である。

##### (2) 高齢者にとって便利な消費環境の整備

- 小売・建設・医療業界が連携して、以下のような高齢者がアクセスし易い消費環境の提供を図る。

- 高齢者向け住宅と隣接する小型小売店舗を展開する。
- 大型小売店舗、マンションの建設・改装に合わせて併設診療所の開設を進める。
- 買い物難民を回避するための宅配サービスの拡充、異業種による在宅サービス等への多角化を図る。

##### (3) 生涯学習・レジャー機会の提供

- 元気な高齢者、とくに今後増加を期待したい大都市圏からの二地域居住や移住者の場合を念頭に、以下のような大学や図書館を核とした生涯学習の機会やレジャーへのアクセス向上を図る。

- 新図書館における図書・情報提供サービスの充実を図る。

#### サブビジョンⅣ

中山間地域では、環境保全と食料・エネルギーの循環によって地域のまとまりが保たれ、行政と「新しい公共」を担う企業・市民の取り組み、県外からの人の交流、情報通信技術の活用によって、温かな地域コミュニティが守られている。

#### (アクションプラン)

#### 1. 「日本一の幸福実感県・高知」のイメージ戦略・ブランド化（「温かく幸せな、もうひとつの故郷・高知」）による県外からの人の交流促進

- 中山間地域では、環境保全と食料・エネルギーの循環利用に地域が一体となって取り組むことで、GKHの向上・ブランド化を図りつつ、以下のような、県外からの人の交流促進策を推進する。
  - ▶ ロングステイに対応した一戸建住宅（エコ住宅）や住宅付クラインガルテン等、県外からの移住希望者を受け入れるための住環境を公的補助のもとで整備する。
  - ▶ 温泉の周辺地や海洋深層水を利用できる場所に立地する高齢者向け住宅や介護施設を、民間が主体になって建設し、医療ツーリズムの拠点として整備する。
  - ▶ スポーツイベントや大学運動部等の誘致、大学によるフィールド調査など、若者が長期滞在できる取り組み、体制整備を進める。

#### 2. 地域コミュニティの拠点としての病院、廃校施設の活用

- 中山間の地域包括的なケア体制の整備については、県が推進する「日本一の長寿県構想」に基づいて、小規模多機能拠点である「あったかふれあいセンター」の整備が進められているが、今後の厳しい財政事情を踏まえれば、既存の施設・拠点を有効に活用すべきであり、中山間地域で最も人が集まる場である、病院・診療所をコミュニティ拠点として位置づけ、「あったかふれあいセンター」の機能を持たせていく。
- 少子化により廃校となった学校施設を地域コミュニティの拠点として有効活用する。例えば、高齢者向けのグループホームとして活用するとか、林間学校や修学旅行などの体験型の観光施設として展開するなど、地域のニーズに見合った方法を検討し、公共投資あるいは民間の参入を促していく。

## サブビジョンV

地域コミュニティを支える組織の再構築が図られ、南海地震に備えて、防災インフラの整備が優先的に進められるとともに、行政・市民・企業が協調して地域の防災体制を築いている。

### (アクションプラン)

#### 1. 小学校区単位での地域コミュニティ組織の再構築

- 既に高知市で取り組み始めている小学校単位での地域コミュニティ組織の再編・関連組織による地域内協議会の設置を、先行モデル地区の状況を踏まえつつ、各市町村でも広く展開していく。
  - ▶ 小学校単位での地域内協議会を実効あるものとするため、地域の特性や課題をもとに、まとまりのある組織体制・リーダーの選出を進めていく。例えば、防災、高齢者ケア、子育て支援、環境整備、観光振興といった課題ごとに関連する組織・人材が中心となった部会によって協議会を構成する体制が考えられる。
  - ▶ マンションの住人等地域コミュニティとの接点が薄い層についても、防災を軸に協議会への参画を促す。
  - ▶ 上記の課題テーマごとに、地域間の情報共有が図れるよう、人的および情報のネットワークづくりを進める。
  - ▶ 地域協議会をサポートする行政サイドは、縦割りの弊害が生じないように、ワンストップの対応部署を設置し、迅速な支援体制を構築する。

#### 2. 防災体制づくりにおける企業の貢献

- 南海地震対策については、国・県・市町村それぞれのレベルで必要なインフラの整備が図られていくことが期待されるが、県内企業も安心・安全な防災体制の整備に向けてソフト面での貢献を果たしていく。
  - ▶ 県および経済団体が主導して、県内全ての企業におけるBCP計画の策定を目指す。
  - ▶ 企業のBCP計画においては、近隣の企業、地域コミュニティ組織（自主防災組織等）、住民とも連携した避難計画等を織り込み、協調して避難訓練を実施するなど、地域と一体となった防災体制の整備を図っていく。

## サブビジョンⅥ

「日本一の幸福実感県・高知」のブランド化によって、県内外のヒト・モノの交流が生まれ、第一次産業や観光等の産業活性化・担い手の確保に繋がっている。また、産学官民の連携のもと、医療・介護関連サービスや環境・エネルギー、防災技術関連を中心とした新しい産業が、若者の雇用の受け皿として成長している。

### (アクションプラン)

#### 1. 雇用の核となる新しい産業の育成

##### (1) 医療・介護関連サービスの集積

- サブビジョンⅢ・Ⅳで示した地域包括的な医療・介護体制の整備に合わせて、医療生活産業の育成・集積を図る。とくに今後、在宅医療・介護への方向が志向される中で、介護保険外のサービス業の集積によって新たな雇用の拡大を目指す。具体的には、サービス付き高齢者向け住宅や食事の宅配サービス、ハウスキーピング、病院等への移送サービス、介護付き旅行サービス・外出支援サービスの展開などについて、医療機関自身による運営、他の業種による事業多角化が求められる。
- スポーツクラブ等の健康サポート産業では、高齢者の平均寿命が今後さらに伸びることが予想される中、高齢者に向けたフィットネスや医療機関と連携した健康メニューづくりなどによる業容拡大が期待される。さらに大都市圏の高齢者を対象にした検査サービスやそれと観光をセットにした医療ツーリズムの仕組みづくり、大都市圏の介護サービス・旅行業者との提携による介護付き旅行サービスの展開を進める。
- 産学官連携による研究対象として医療・介護分野を重点分野として位置付ける。既に高知大学において海洋深層水の2次利用による抗癌剤の開発研究が進められているが、こうした基礎研究で実績を挙げることで、医薬品等の関連産業の誘致を目指したい。また、主要医療機関と中山間地域の診療所間の遠隔医療のシステムづくりや、工業会との連携による介護用器械の開発・実用化といった取り組みを進めることで、医療機関等の設備投資を促すとともに、ものづくりの地産地消を推進する。



## サブビジョンⅦ

人口減少のもとでも、高齢者が地域のために元気に働き続け、女性の雇用機会も増えている。将来の地域社会・経済を支える若い人材が育っている。

### (アクションプラン)

#### 1. 地域コミュニティの中核となる人材の育成・人的ネットワークの形成

- 高齢化によって、これまで地域コミュニティの中核を担っていた人材が不足してくることが予想される中、専門性を持った新たな中核人材の育成とネットワークづくりを進める。
  - 地元大学に地域政策論の学部またはコースを新設し、地元に着した地域貢献活動の経験を持つ専門性のある人材を育成して、県・市町村での採用を進める。
  - 中山間地域での介護サービス等に対するボランティアの受け入れを、地域で組織的かつ積極的に行い、地域コミュニティの中核となる人材の確保に繋げる。

#### 2. 高知県出身者・大都市圏からの移住者との交流機会の拡大

- 県外在住の高知県出身者や大都市圏からの移住者の知見を地域の活性化に活かすために以下のような取り組みを進める。
  - 県・市町村においてアドバイザーポストとして活用できるよう、期限付き任用制度や出向受入体制を拡充する。とくにマーケティング、ビジネスマッチング等の分野での登用を図る。
  - 前述の産学官民連携センターにおける産業人材育成プログラムでの講師などの活用を図る。
  - 学校のOB、県の観光特使、市町村の名誉市民などの人材のプールづくりを進め、テーマに応じてアドバイスを受ける体制を整備する。
  - 地域コミュニティ組織のなかで、大都市圏からの移住者が活躍できる場を持つ仕組みづくりを進める。例えば、コミュニティビジネスへの参画や生涯学習サークル等文化的活動などに移住者が容易にアプローチできるよう情報提供の仕組みを整備していくことが考えられる。

様式第7号 (第6条関係)

活動内容報告書兼  
政務活動費支出明細書

会派名：日本共産党高知市議団

活動内容等	期間又は月日	2017年8月25日(金)～27日(土)	
	支出先	太平洋トラベル他	
目的・内容・結果等	生活保護問題議員研修会 第5分科会「低所得者への医療保障(国保・無料低額診療事業)を考える」に参加		
支出金額等	項目	用途内容の明細, 積算の基礎等	金額(円)
	調査研究費		
	研修費	生活保護問題議員研修会参加費15,000円 旅費94,300円	109,300
	要請・陳情活動費		
	会議費		
	資料作成費		
	資料購入費		
	広報広聴費		
	人件費		
	事務諸費		
			合計
領収証書及び支払証明書添付枚数 5 枚			
備考			

※ 枠内に収まらない場合は、別紙に整理し添付してください。

規則様式第6号(第6条関係)

支 払 証 明 書

支 払 金 額	金 1, 650円也
内 容	交通費(生活保護議員研修会)
支 払 先	とさでん交通、東京モノレール
支 払 年 月 日	2016年8月25日(金)・27日(日)
理 由	<p><input type="checkbox"/> 下記の理由により、領収証書がありません。</p> <p>参考様式1の</p> <p>①高知市役所→高知空港 720円 自動発券機で購入のため</p> <p>③羽田空港→浜松町駅 490円 スイカ使用のため</p> <p>⑤長野駅→信州大学工学部 240円 車内支払いのため</p> <p>⑦高知駅→高知市役所 200円 デスカ使用のため</p> <p>※ 参考資料、領収証書等があるときは、別紙に整理し添付してください。</p>

上記のとおり支払いましたので証明願います。

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄 様

2017年8月31日

依頼者氏名 下元 博司



上記のとおり支払ったことを証明します。

2017年8月31日

会 派 名 日本共産党高知市議団

代表者氏名 下本 文雄



参考様式1 視察に係る旅費交通費（規則様式第8号別紙）

別紙

視察に係る旅費交通費

月日	区 間 宿 泊 先	交通手段 支払区分	計算式・積算基準等	金 額 (円)
8/25	市役所→高知空港	空港連絡便	片道のみ	①720
	高知空港→羽田空港	航空機		②37,890
	羽田空港→浜松町	モノレール		③490
	浜松町駅→長野駅	JR		④26,960
	長野駅→信州大学工学部（研修会場）	路線バス （アルピコ交通）		⑤240
	研修			
	ホテルサンルート長野東口	宿泊		⑥18,800
		日当		3,000
8/26	研修			
	ホテルサンルート長野東口	宿泊		⑥に合算
		日当		3,000
8/27	長野駅→名古屋駅→高知駅	JR		④に合算
		日当		3,000
	高知駅→市役所	とさでん交通		⑦200
			(研修参加費 15,000)	(15,000)
合 計				94,300 (109,300)

※ 支出を伴わない移動（徒歩、相手方による送迎等）は記載不要。

※ 旅費は、高知市役所を出発地として計算。